Panasonic®

取扱説明書 基本ガイド

パーソナルコンピューター

品番 CF-J10 シリーズ

（Windows 7）

本機の説明書には、各種『取扱説明書』や、パソコンの画面で見る 『操作マニュアル』などがあります。以下のように活用してください。

はじめに見る

『取扱説明書 準備と設定ガイド』

●最初に「付属品の確認」で付属品を確認してください。

付属品、Windowsのセットアップ、別売品、保証とアフターサービスなど

次に見る

『取扱説明書 基本ガイド』（本書）

基本操作、各種設定、メモリーの取り付け、再インストールなど

『操作マニュアル』

画面上の をダブルクリックして表示

インターネット、省電力など

困ったときに見る

『取扱説明書 基本ガイド』（本書）の

「このパソコンにトラブルがあったときは」（➡62ページ）

必要なときに見る

『取扱説明書 Windows® 7入門ガイド』

『取扱説明書 無線LAN接続ガイド』

（機種によっては付属していない場合があります。）

『ネットセレクター 2の使い方』

『ハードディスクの取り扱いについて』

（ハードディスクドライブ搭載モデルのみ）

（表示方法 ➡ 本書の23ページ）

は画面で見るマニュアルのマークです。

安全上のご注意
はじめに
使ってみる
困ったとき
仕様一覧
さくいん

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●**ご使用前に「安全上のご注意」（11 ～ 15ページ）を必ずお読みください。**

●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

●製品の品番は、本体底面の品番表示または「仕様」でご確認ください。

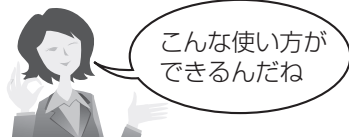
レッツノートでできること

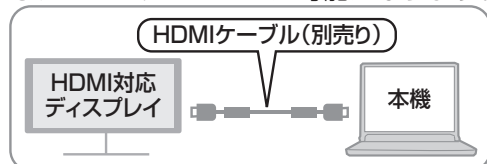
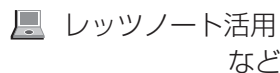
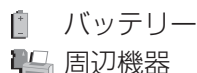
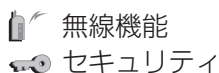
楽しみを広げる

● **ワイヤレスでブロードバンド**
無線 LAN 機能を搭載しています。※1

● **SD メモリーカードスロット装備**

※1 5.2GHz/5.3GHz帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。W52/W53をご使用で無線 LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください（➡『操作マニュアル』「（無線機能）」の「IEEE802.11aの有効 / 無効を切り替える」）。5.47GHz～5.725GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

便利に使う

● **複数のネットワークを切り替える**
ネットセレクター 2 で、「家では無線 LAN、会社では有線 LAN」などの切り替えが簡単に行えます。

● **HDMI で接続**
従来の外部ディスプレイコネクターに加えて、HDMI 出力端子が搭載され、デジタル出力にも対応。大画面モニターに接続して、迫力あるプレゼンテーションが可能になります。

● **Windows 7（32ビット）とWindows 7（64ビット）が選べる**
本機では、ハードディスクリカバリー機能を使ってWindows 7を再インストールするときに、32ビットか64ビットを選ぶことができます。（➡79ページ）

パソコンを守る

● **自分に合ったセキュリティ設定**
セキュリティ設定ユーティリティで、パスワードなどさまざまなセキュリティ対策を行うことができます。（➡35ページ）

● **ウイルスから守る**
デスクトップに が表示されている機種ではマカフィー・PC セキュリティセンターをセットアップできます。

快適に使う

● **使う目的に合わせてパソコンの設定を切り替える**
Windows 標準の電源プランに加えて、「パナソニックの電源管理（標準）」「パナソニックの電源管理（プレゼンテーション）」「パナソニックの電源管理（モバイル）」「パナソニックの電源管理（省電力）」「パナソニックの電源管理（放熱優先）」の５つの電源プランが用意されています。
会議でプレゼンテーションをするときは、電源プランを「パナソニックの電源管理（プレゼンテーション）」に設定。
スクリーンセーバーが起動することなく、画面をオンのままにするなど、プレゼンテーションに適した状態で使うことができます。
電源プラン拡張ユーティリティまたはピークシフト制御ユーティリティを使って電源プランを設定することができます。

● **Windowsが起動するまでの時間を短縮**
クイックブートマネージャーを使ってWindowsの設定などを変更することで、パソコンの電源を入れてからWindowsが起動するまでの時間を短縮することができます。
➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「Windowsが起動するまでの時間を短くする」

詳しい説明は画面で見る『操作マニュアル』を活用

操作マニュアル

ダブルクリック

各項目をクリックしてください。

無線機能　　バッテリー　　レッツノート活用
セキュリティ　　周辺機器　　など

もくじ

本機を安全・快適に、そして便利に活用していただくために、次の説明書を用意しています。

『取扱説明書 準備と設定ガイド』 はじめに必ずお読みください。	• 初めてお使いになるとき（ご使用前の準備・設定や付属品の確認） • 消耗品、別売り商品、アフターサービスについて知りたいとき
『取扱説明書 基本ガイド』（本書）	• 基本操作や仕様などの情報を知りたいとき • 困ったとき（画面で見るマニュアルが見られない場合）
画面で見る 『操作マニュアル』と『困ったときのQ&A』	• 本機の機能・操作・活用方法を知りたいとき • セキュリティ機能について知りたいとき • 困ったとき

● 安全上のご注意

● はじめに

● 使ってみる

もくじ

●困ったとき

このパソコンにトラブルがあったときは

起動 / 終了 / スリープ状態 / 休止状態のQ&A

パスワード / メッセージのQ&A

バッテリーのQ&A

さらに詳しい情報は、画面で見る『操作マニュアル』をご覧ください。➡次ページ
保証とアフターサービスについては、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。

もくじ

画面で見る『操作マニュアル』

本機の機能詳細・操作・活用方法やセキュリティ機能について知りたいときにご覧ください。
デスクトップの をダブルクリックしてください。

TOPメニュー

インターネット

電子メール

無線機能

セキュリティ

画面で見る『困ったときのQ&A』

本機が正常に動作しないなどのトラブルが発生したときにご覧ください。
デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックしてください。

バッテリー

- カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短い
- 「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」画面が表示された
- バッテリー残量表示補正時に「ACアダプターが接続されているか確認してください」が表示された
- バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯している
- バッテリー状態表示ランプが点滅している
- バッテリー状態表示ランプが明滅している
- バッテリーパックの交換時期（寿命）を知りたい
- バッテリーパックの耐久年数を延ばしたい
- ピークシフト制御中でもバッテリーが充電される

液晶 / 画面表示

- インテル® WiDiの接続が切断される
- インテル® WiDiを使って接続できない
- インテル® WiDiを使って正しく表示できない
- 外部ディスプレイと内部LCDに同時に表示できない
- 外部ディスプレイに何も表示されない/正しく表示されない
- 一瞬真っ黒になる
- 明るさが変わった（暗くなった/明るくなった）
- 画面が乱れる
- 画面の色合いを調整したい
- 画面の設定が復元できない
- 電源を入れた直後に表示されるはずの「Panasonic」起動画面が表示されない
- 何も表示されない
- 明るさが数回変化する
- 表示先が切り替わらない
- 拡大表示したい
- 残像が表示される
- 緑、赤、青のドットが残ったり、正しい色が表示されない/画面の色や明るさにむらが見える

メッセージ/通知領域

- 「NumLockがオンになっています」が表示された
- Windowsが起動せず、数字またはメッセージが表示された
- 「Windowsファイアウォールでブロックされています」という画面が表示された
- 「更新プログラムを確認できません」が表示された
- 「PCの問題を解決：1通の重要なメッセージ」などが表示された
- 「スタートアッププログラムの一部がWindowsでブロックされています」が表示された
- 通知領域のアイコンが隠れて見えない
- 日付と時刻が正しく表示されない

文字入力 / キー操作

- Fnキーと組み合わせた操作ができない
- アルファベットが大文字でしか入力できない
- アルファベットのキーを押しても数字が入力される
- 欧文特殊文字（ß、à、çなど）や記号が入力できない
- 日本語が入力できない

Windowsの操作 / ハードウェア

- Windows Aeroを解除 / 使用する
- Windows XP Modeを初期状態に戻す
- Windowsの動作が遅い
- 応答がない
- ディスクのエラーチェックを行いたい
- ハードディスクのデータの読み出しや書き込みができない
- ハードディスクの容量が少なく表示される
- パソコン本体が熱くなった

もくじ

画面で見る『困ったときのQ&A』

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

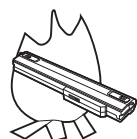
●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

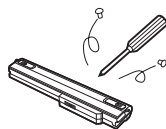
危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

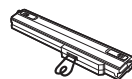
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

バッテリーパックに関する注意　危険

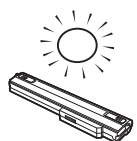
火中に投入したり加熱したりしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

クギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

●強い衝撃が加わったら、すぐに使用をやめてください。

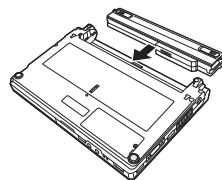
プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

発熱・発火・破裂の原因になります。

●ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

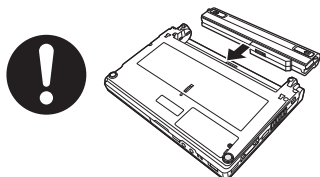
指定の方法で充電する

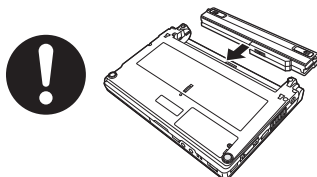
指定の方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

劣化したら新品と交換する

劣化したバッテリーパックを使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

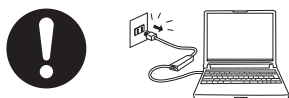
バッテリーパックに関する注意

付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する

CF-J10シリーズ専用のバッテリーパックです。CF-J10シリーズ以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

必ず、指定のバッテリーパックを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

異常・故障時には直ちに使用をやめる

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

- 破損した
- 内部に異物が入った
- 煙が出ている
- 異臭がする
- 異常に熱い

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、販売店に修理についてご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

長時間直接触れて使用しない

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※1の原因になります。

長時間通風孔（排気）からの温風にあたらない

低温やけど※1の原因になります。
また、通風孔（排気）を手などでふさぐと内部に熱がこもり、やけどなどの原因になります。

本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない

水などの液体がこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを抜いて、販売店にご相談ください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

雷が鳴り始めたら、本機やケーブルに触れない

感電の原因になります。

分解や改造をしない

感電や、異物の混入などによる火災の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

※1 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る※2

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る※2

手術室、集中治療室、CCU※3などには持ち込まないでください。本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る※2

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

※2 やむをえずこのような環境でパソコン本体を使用する場合は、無線切り替えスイッチを左（OFF側）にスライドしてください。ただし、航空機の離着陸時など、無線の電源を切ってもパソコンの使用が禁止されている場合もありますので、注意してください。

※3 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

注意

不安定な場所に置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に置かない

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

高温の場所に長時間放置しない

火のそばや炎天下など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながることがあります。

⚠注意

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

通風孔（排気）をふさがない

禁止

布などでくるんだり、布団や毛布などの上で使用したりして通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

禁止

LANコネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T以外のネットワーク
- 電話回線（IP電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話など）

モデムは、一般電話回線で使用する（モデム搭載モデルのみ）

会社、事務所などの内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話に接続したり、本機で対応していない国や地域※4で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

※4 モデムが対応している国や地域については、モデム搭載モデルの仕様をご覧ください。

ACアダプターに強い衝撃を加えない

禁止

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

● ACアダプターの修理は、販売店にご相談ください。

必ず指定のACアダプターを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

使用上のお願い

使用 / 保管に適した環境

●平らで落下のおそれがない場所
パソコンが落下すると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。

●使用時の温度：5℃～ 35℃
湿度：30 % RH ～ 80 % RH
（結露なきこと）
保管時の温度：－20℃～ 60℃
湿度：30 % RH ～ 90 % RH
（結露なきこと）
上記の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けると、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。

●熱のこもらない環境
- 保温性の高いところ（ゴムシートや布団の上など）での使用は避け、スチール製の事務机など放熱性が優れた場所でお使いください。
- 放熱の妨げとなりますので、タオルやキーボードカバーなどで覆わずにお使いください。
- 本体のディスプレイは、開いた状態でお使いください。ディスプレイを閉じた状態でも、発煙・発火・故障のおそれはありませんが、温度が上がらないように動作が遅くなったり、パソコンの向き（立てて置くなど）によっては保護のため電源が切れたりする場合があります。

●磁気を発生するものおよび磁気カードなどから離れた場所
- 磁石、磁気ブレスレットを近づけないでください。
- 本機は下図の丸印の位置に磁石および磁気製品を使用しています。磁気カードや磁石、磁気ブレスレットなどが触れた状態にしないでください。
- 下図のAの位置に磁気を発生するものを近づけないでください。
工場出荷時の設定では、本機のディスプレイを閉じるとディスプレイが消えスリープ状態になります。
Aの位置に磁気を発生するものを近づけると、ディスプレイが閉じられたと判断しディスプレイが消え、スリープ状態になる場合があります。

長時間連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

●ジャケットについては、「お手入れ」をご覧ください。（➡ 19ページ）

使用中に本機が熱いと感じたら

CPUの動作などにより本機が熱くなることがありますが、故障ではありません。
特にインテル® WiDi※1 を使って外部ディスプレイに画面を表示していると、CPUに負荷がかかるため本機が熱くなる場合があります。

●**インテル® WiDi※1 を使って外部ディスプレイに画面を表示している場合は、電源プランを [省電力] に設定すると、パソコン内部の発熱を下げることができます。**
（電源プランの[省電力]はパフォーマンスを抑える設定のため、アプリケーションソフトや周辺機器を頻繁に使用すると、パソコンの処理速度が遅くなる場合があります。）
※1 インテル® WiDiを使うと、ケーブル接続なしでパソコンの画面を外部ディスプレイに表示することができます。テレビなどの大画面にパソコンの画面を表示して複数の人で見る場合などに便利です。

●**インテル® WiDiを使っていない場合は、次の設定を行うと、パソコン内部の発熱を下げることができます。**
- 電源プランを[パナソニックの電源管理（放熱優先）]に設定してください。
[パナソニックの電源管理（放熱優先）]に設定すると、次の設定などが変更されます。
  - ファン制御モードが[高速]に変更。
冷却ファンの回転が高速になり、本機の温度を下げることができます。ただし、バッテリーの駆動時間が短くなります。
  - スクリーンセーバーを表示しない設定に変更。
  - その他、内部 LCDの輝度を下げたり、Windows Aeroを無効に変更したりします。

CPUの使用率が高くない場合や、冷却ファンの回転音などが気になる場合は、必要に応じて次の手順でファン制御モードを[標準]または[低速]に設定してください。
画面右下の通知領域の をクリックして をクリックし、[ファン制御モード]をクリックして[標準]または[低速]をクリックする。

重 要

● [パナソニックの電源管理（放熱優先）]に設定すると、グラデーション表示などの画質があらくなる場合があります。
● アプリケーションソフトによっては、処理が遅くなる場合があります。その場合は、[パナソニックの電源管理（標準）]に戻してください。

• 無線LANをご利用にならない場合は、無線LANの電源を切ってください。

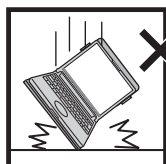
● **メモリーを増設する場合は当社推奨のRAMモジュールをお使いください。**
推奨以外のRAMモジュールを取り付けると、発熱量が大きくなったり、正常に動作しなかったりする場合があります。

メ モ

ACアダプターは、使用中熱くなりますが異常ではありません。

内蔵ハードディスクのデータ保護

データ保護のために次のことをお守りください。

● **パソコン本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。**

ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやWindowsおよびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。

● **Windowsやアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクアクセスランプ の点灯中は、電源を切らない。**

ハードディスクのトラブルを避けるため、（スタート）メニューから電源を切ってください。

● **磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。**

ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。

● **データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。**

➡ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」

『ハードディスクの取り扱いについて』もご覧ください。（➡23ページ）

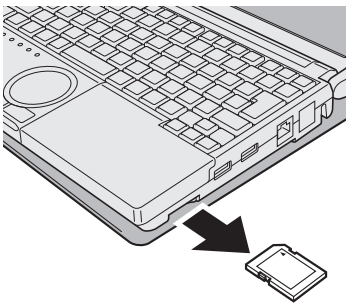
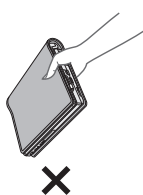
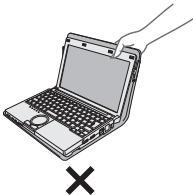
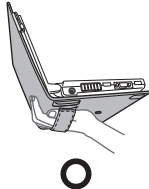
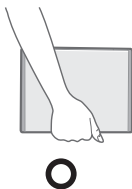
Windows 7プリインストールモデルのサポート情報

次のWebサイトでWindows 7に関する注意事項など、Windows 7プリインストールモデルのサポート情報が入手できます。
http://askpc.panasonic.co.jp/win7/pre_in/index.html

はじめに

持ち運ぶとき

お守りください

● 本機は、ハードディスクドライブなどへの衝撃が小さくなるように設計されていますが、衝撃による故障は保証しかねます。本機は精密機器ですので、取り扱いには十分注意してください。
● 電源を切る。
● 外部装置やケーブル、SD メモリーカードなどをすべて取り外す。

● ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。

● 落としたり机の角など硬いものにぶつけたりしない。
● 航空機利用時は次のことを守る。
  • パソコンやディスクなどは、手荷物として持つ。
  • 航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。
● 液晶部分が破損するおそれがあるため、バッテリーパックを取り外しているときは、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えない。また、この状態でかばんなどに入れて持ち運ぶときも、満員電車などで力がかからないように気を付ける。

お勧めします

● AC アダプターと、予備のバッテリーパック（別売り）を用意する。
● 予備のバッテリーパック（別売り）は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。
● SD メモリーカード、USB メモリー、外付けハードディスク（いずれも別売り）などにデータのバックアップを取る。

お手入れ

●ディスプレイやホイールパッドのお手入れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
●ディスプレイ以外の部分やホイールパッドに汚れが付着した場合は、水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたく絞ってやさしく汚れをふき取ってください。中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。
●ジャケットは合成皮革を使用しています。お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいとき
  水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後乾いた柔らかい布でふいてください。
- 水にぬれたとき
  すぐに乾いた柔らかい布で水をふき取ってください。ふき取った後は、風通しの良い場所などで十分に乾かしてください。
- ジャケットを保管するとき
  涼しく、風通しの良い、ほこりや化学薬品のない場所に保管してください。
  保管温度の範囲内（－20 ℃～60 ℃）でも、直射日光が当たる車の中や、浴室などの湿度の高いところに放置しないでください。また、高温の乾いた場所に保管すると、皮革部分が変形する場合があります。
- 合成皮革部分にラベルやシールなどを貼らないでください。
- ひっかいたり、硬いものでこすったりしないでください。
- 色落ちや変色が発生する場合があります。

重 要

●ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えたり、皮革部分が変質したりする場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面や皮革部分に影響を与える成分が含まれている場合があります。
●水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

気温が高い場所でお使いになる場合

●気温が高い場所で連続してお使いの場合、パソコン内部の発熱を下げるモードに入るため、一時的に動作が遅くなることがあります。

電子メールなどのバックアップと復元

ハードディスクに保存している電子メールやアドレス帳、お気に入りなどの必要なデータは、定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

詳しくは『操作マニュアル』「（インターネット）」または「（電子メール）」をご覧ください。

ネットセレクター 2のエクスポート機能を使うと、ネットワークの設定を保存することができます。

➡『ネットセレクター 2の使い方』

故障や不本意なデータ更新 / 消失などのトラブル発生時の被害を最小限に抑えるためには、定期的なデータのバックアップが有効です。
（「ハードディスクを復元する」➡77ページ）

バッテリー状態表示ランプが点灯しないとき

ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。
電源コードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。
それでもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

文字がにじんだりぼやけたりする場合

画面の解像度をLCDのドット数よりも小さくすると、LCDのドット数に合うように画面が引き伸ばされて表示されます。このため、文字がにじんだようになりますが、故障ではありません。

文字をにじませず、大きく表示させたいときは、解像度を変更せず、次の方法をお試しください。

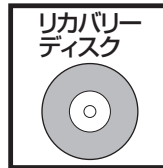
- （スタート）-[コントロールパネル]-[デスクトップのカスタマイズ]-[ディスプレイ]をクリックし、[小 -100%]以外をクリックして[適用]をクリックする。
  [今すぐログオフ]または[後でログオフ]を選択してください。本設定を有効にするには、いったんログオフした後に再度ログオンする必要があります。
- Internet Explorer、WordやExcelなどのアプリケーションソフトのフォントサイズを拡大表示する場合：各アプリケーションソフトの表示拡大機能を使う。
- 画面を拡大表示する場合：
  ぴったりビューやズームビューアーを使う。
  ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面全体を拡大表示する」または「画面の一部を拡大表示する」

周辺機器の使用について

パソコン本体、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- 仕様に適合した周辺機器を使用する。
- コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
- 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認する。
- 固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
- ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

また、本書および『操作マニュアル』と合わせて、使用する周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

リカバリーディスクは大切に保管してください

ハードディスクから再インストールを実行できない場合などに必要です。プロダクトリカバリー DVD-ROMが付属しているかどうかは、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「1 付属品の確認」で確認してください。

プロダクトリカバリー DVD-ROMが付属していない場合は、リカバリーディスクを作成することができます。
作成を希望される場合は、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「6 リカバリーディスクを作成する」をご覧ください。

無線 LANご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線 LANのセキュリティに関する設定は行われていません。

無線 LANをご使用になる前に、必ず無線 LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

➡ 『操作マニュアル』「（無線機能）」の「接続の設定をする」

無線 LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線 LANアクセスポイント（別売り）との間で情報のやり取りを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁など）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
  - IDやパスワード
  - クレジットカード番号などの個人情報
  - メール内容

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本機の無線LAN機能や無線LANアクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線LANアクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

省電力設定について

本製品は、デバイスへのアクセスや操作がない状態が一定時間続いたときに省電力機能が働くなど、国際エネルギースタープログラムに準拠した電力管理が工場出荷時に設定されています。本機を使用していない間の消費電力を削減することができます。

●工場出荷時の設定については、「スリープ状態 / 休止状態に移行するまでの時間を変更 / 無効にする」をご覧ください。（➡41ページ）

●スリープ / 休止状態から復帰する方法については、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「スリープ状態 / 休止状態を使う」をご覧ください。

音声や動画について

●AVIファイルを再生する場合
アプリケーションソフトをたくさん起動するなどしてパソコンに負荷がかかっている場合や気温が高い場所で使っている場合、AVIファイルの再生時に音声や映像が途切れることがあります。このときは、次の操作を行うと改善される場合があります。
- 使っていないアプリケーションソフトを閉じる。
- 使用環境温度を低くする。
- 電源プランを[高パフォーマンス]に変更する。（気温が高い場所でお使いの場合は、使用環境温度を低くしたうえで[高パフォーマンス]に設定してください。気温が高い場所では、[高パフォーマンス]に設定しても改善されません。）

●SDメモリーカードなどに保存されている動画ファイル（MPG、WMVなど）や音声ファイル（MP3、WMAなど）を再生すると、音声や映像が途切れる場合があります。
その場合は、ハードディスクにファイルをコピーして再生してください。

表記について

Enter	キーボードのEnterキーを押すこと。
Fn + F5	キーボードのFnを押しながら、F5を押すこと。 Fnと Ctrl（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➡53ページ）は、Fnと Ctrlを置き換えてご覧ください。
（スタート）-[すべてのプログラム]	画面上の（スタート）をクリックした後、[すべてのプログラム]をクリックすること。
➡	参照先
（マニュアルアイコン）	画面で見るマニュアルのこと。

● 本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。

標準ユーザーのアカウントで実行できない機能があったり、説明と異なる画面が表示されたりした場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

● 本書では、Windows Aeroを設定していない場合の画面表示で説明しています。

● 本書では、指定がない限り、次のOSを「Windows」または「Windows 7」と表記します。

- 「Windows® 7 Professional 32ビット 正規版 (Service Pack 1 適用済み)（日本語版）」
- 「Windows® 7 Professional 64ビット 正規版 (Service Pack 1 適用済み)（日本語版）」
- 「Windows® 7 Home Premium 32ビット 正規版 (Service Pack 1 適用済み)（日本語版）」
- 「 Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版 (Service Pack 1 適用済み)（日本語版）」

● 本書では、搭載されている機能によって説明が異なるため、次のような表記で区別しています。

- 「ハードディスクドライブ搭載モデル」とは、ハードディスクドライブが内蔵されているモデルのことです。
- 「フラッシュメモリードライブ搭載モデル」とは、ハードディスクドライブではなく、フラッシュメモリードライブが内蔵されているモデルのことです。

本書では、「ハードディスクドライブ」および「フラッシュメモリードライブ」を総称して「ハードディスクドライブ」と表記する場合があります。

「仕様」でお持ちのパソコンがどのモデルか確認してください。

● 本書では、接続する外部ディスプレイによって説明が異なるため、次のような表記で区別しています。

- 「アナログディスプレイ」とは、外部ディスプレイコネクターに接続した外部ディスプレイのことです。
- 「HDMI対応ディスプレイ」とは、HDMI出力端子に接続した外部ディスプレイ（テレビを含む）のことです。

● 別売りの商品について

本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

● 再インストールについて

再インストールとは、ハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。

再インストールを実行するとハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

<u>お客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。</u>

再インストールの方法や確認事項については「再インストールする」（➡79ページ）をご覧ください。

画面で見るマニュアルの見方

次のマニュアルは本機に保存されています。Windowsのセットアップ（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』）が終わった後に見ることができます。

『操作マニュアル』『困ったときのQ&A』を見る

1 **デスクトップの（操作マニュアル）をダブルクリックする。**

『操作マニュアル』を見る場合は、画面上部の[操作マニュアル]をクリックしてください。

『困ったときのQ&A』を見る場合は、画面上部の[困ったときのQ&A]をクリックしてください。

- デスクトップの（バッテリー等の上手な使い方）をダブルクリックすると、『操作マニュアル』の「（バッテリー）」が表示されます。
- デスクトップの（セキュリティについて）をダブルクリックすると、『操作マニュアル』の「（セキュリティ）」が表示されます。
機種によってはデスクトップに（セキュリティについて）が表示されていない場合があります。

『ネットセレクター２の使い方』を見る

ネットセレクター２の使い方を説明しています。

1 **（スタート）-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[ネットセレクター2]-[ネットセレクター２について]をクリックする。**

『ハードディスクの取り扱いについて』を見る

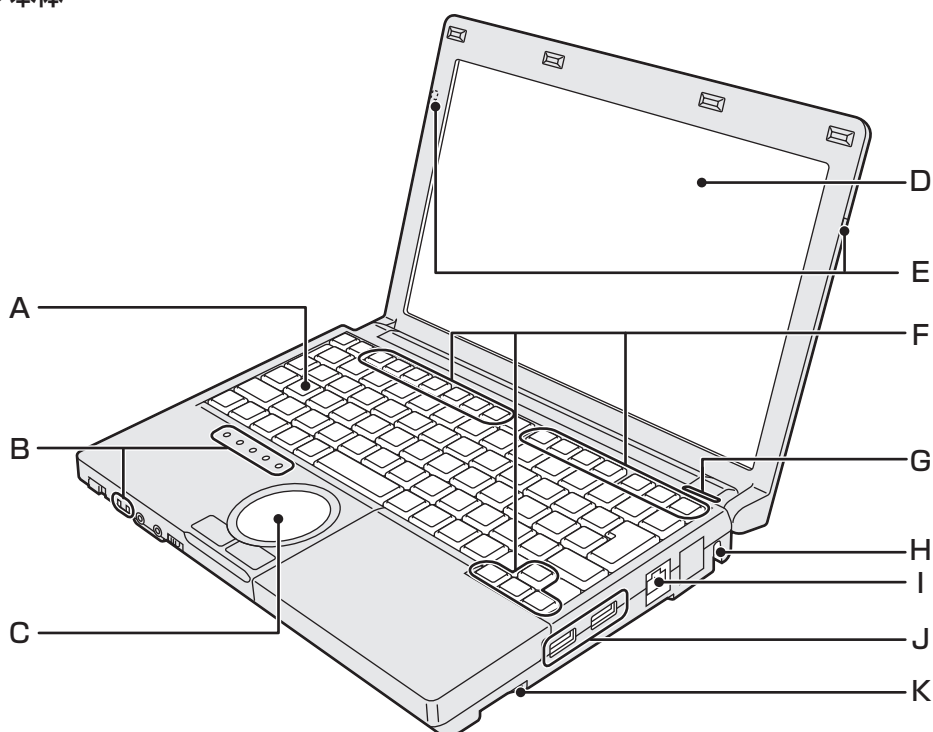
ハードディスクの取り扱いについて説明しています。
ハードディスクドライブ搭載モデルのみ表示されます。

1 **（スタート）-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[ハードディスクの取り扱いについて]をクリックする。**

Windowsのヘルプを見る

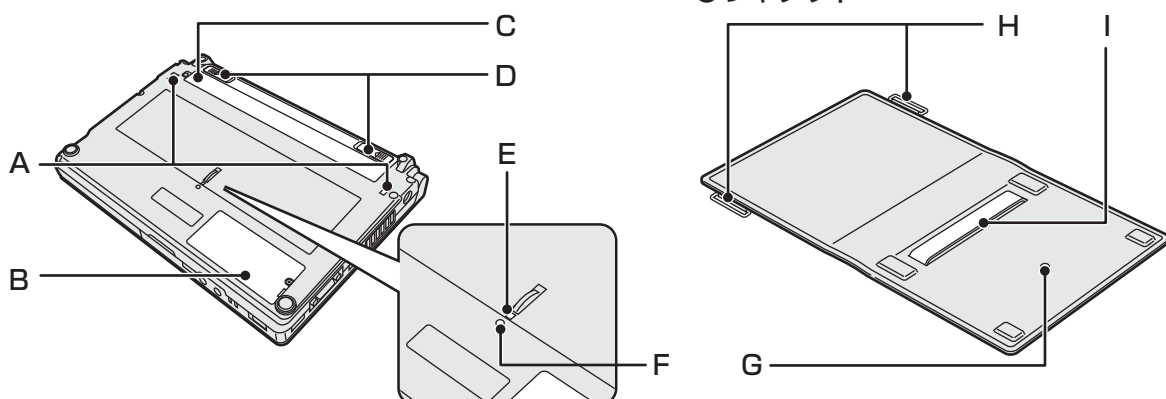
1 **（スタート）-[ヘルプとサポート]をクリックする。**

各部の名称と働き

● パソコン本体

	名　称	働き / 参照先
A	キーボード	―
B	状態表示ランプ	➡27ページ
C	ホイールパッド	➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」 ➡32ページ
D	ディスプレイ（内部 LCD）	明るさ調整 : Fn ＋ F1（暗くする）／ Fn ＋ F2（明るくする） ➡29ページ
E	フック用穴	ジャケットを取り付けるときにフックを挿し込みます。 ➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「3 ジャケットを取り付ける」※1
F	ファンクションキー	Fnと組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。 ➡34ページ
G	スピーカー	• 音量調整 : Fn ＋ F5（小さくする）/ Fn ＋ F6（大きくする） • スピーカーのオン / オフ : Fn ＋ F4
H	セキュリティロック	ケンジントン社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。 接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。 セキュリティロックおよびセキュリティケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。
I	LANコネクター	LANケーブルを接続します。 ➡『操作マニュアル』「（インターネット）」の「ブロードバンドで接続する」
J	USB2.0ポート	USB機器を接続します。USB1.1/2.0に対応しています。 ➡『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「USB機器を接続する」
K	SDメモリーカードスロット	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード専用です。 ➡『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「SD/SDHC/SDXCメモリーカードを使う」

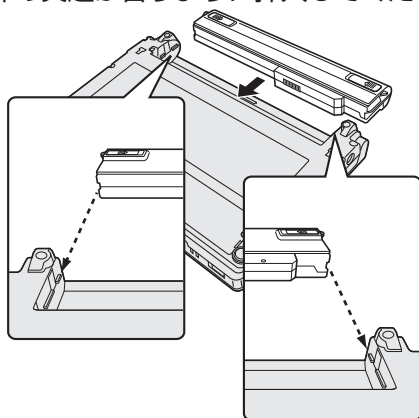
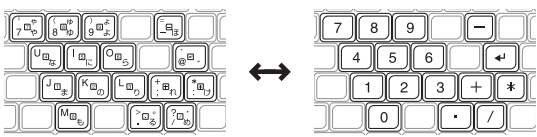
※1 ジャケットが付属していないモデルをお使いの場合は、ジャケット（別売り）に付属の取扱説明書をご覧ください。

	名　称	働き/参照先
A	電源端子　DC IN 16V	ACアダプターを接続します。
B	通風孔（排気）	内部の熱を逃がします。
C	HDMI出力端子	HDMI対応ディスプレイ（テレビや液晶ディスプレイ）を接続します。 ➡『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「HDMI対応ディスプレイを接続する」
D	外部ディスプレイコネクター	アナログディスプレイのケーブルを接続します。 ➡『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「アナログディスプレイを使う」
E	USB3.0ポート	USB機器を接続します。USB1.1/2.0/3.0に対応しています。 ➡『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「USB機器を接続する」
F	無線用アンテナ（内蔵）	無線通信用のアンテナが内蔵されています。 ➡『操作マニュアル』「（無線機能）」
G	無線切り替えスイッチ　WIRELESS	無線LANなど本機に搭載されているすべての無線機器の電源のオン（右側）／オフ（左側）を切り替えます。 ➡『操作マニュアル』「（無線機能）」
H	マイク入力端子	コンデンサー型ステレオマイクロホンを使用できます。 コンデンサー型以外のマイクロホンを使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。 • 2極プラグのモノラルマイクをお使いになる場合： マイクを接続し、（スタート）-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[サウンド]-[録音]-[マイク]-[プロパティ]-[拡張]をクリックします。[モノマイク]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックしてください。 • 上記設定を行った後、ステレオマイクを使ってステレオで録音する場合は次の手順で設定を元に戻してください。 上記手順で、[モノマイク]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックしてください。
I	オーディオ出力端子	市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。
J	電源スイッチ	スイッチをスライドすると電源が入り、電源状態表示ランプが点灯したら指を離します。4秒以上スライドし続けると、強制的に電源が切れます。 ➡30ページ

各部の名称と働き

	名　称	働き/参照先
A	ジャケット用穴	ジャケット内側の突起を挿し込んで固定します。 ➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「3 ジャケットを取り付ける」※2
B	拡張メモリースロット	RAMモジュールを取り付けます。（ジャケットを取り付けている場合は取り外して操作してください） ➡47ページ
C	バッテリーパック	➡40ページ バッテリーパックの取り付け/取り外しの方法は、下記をご覧ください。（ジャケットを取り付けている場合は取り外して操作してください）
D	ラッチ	バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。取り外すときは、内側にスライドしてロックを解除します。
E	位置合わせ用マーク	ジャケット取り付け時、ジャケットの位置を合わせるための印です。 ➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「3 ジャケットを取り付ける」※2
F	ジャケット用ネジ穴	ジャケットを固定するためにネジを取り付けます。 ➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「3 ジャケットを取り付ける」※2
G	ネジ用穴	
H	リング	ジャケット取り付け時、フックに取り付けます。 ➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「3 ジャケットを取り付ける」※2
I	ハンドストラップ	➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「3 ジャケットを取り付ける」※2

※2 ジャケットが付属していないモデルをお使いの場合、ジャケット（別売り）を別途購入していただく必要があります。取り付け方法は、ジャケット（別売り）に付属の取扱説明書をご覧ください。

● **バッテリーパックの取り付け方法**

バッテリーパックを矢印の方向にスライドして取り付ける。
バッテリーパックの左右のくぼみとパソコン本体の突起が合うように挿入してください。

● **バッテリーパックの取り外し方法**

左右のラッチをロック解除 🔓 の方向にスライドした状態で、バッテリーパックを本体と平行に外へ押し出す。

状態表示ランプ

名 称	状態 / 参照先
Caps Lock ランプ（キャップスロック）	Shift を押しながら Caps Lock を押すと点灯または消灯し、入力できるアルファベットの種類を表します。解除するには、もう一度 Shift を押しながら Caps Lock を押します。 • 点灯：大文字 • 消灯：小文字
NumLock ランプ（ナムロック / テンキーモード）	NumLk を押すと点灯し、下図のようにキーボードの一部がテンキーとして機能します。ランプ点灯時にキーを押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。 解除するには、もう一度 NumLk を押します（ランプ消灯）。 テンキーモード 7 8 9 − / 4 5 6 ↵ / 1 2 3 + * / 0 . / ↵ の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。
ScrLk ランプ（スクロールロック）	Fn を押しながら NumLk（ScrLk）を押すと点灯または消灯します。使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
ハードディスクアクセスランプ	ハードディスクドライブへのアクセス時に点灯します。
SD メモリーカード状態表示ランプ	SD/SDHC/SDXC メモリーカードへのアクセス時に点灯します。
電源状態表示ランプ	• 消灯：電源オフまたは休止状態 • 点灯：電源オン • 点滅：スリープ状態 工場出荷時の設定では、内部 LCD の明るさに合わせて電源状態表示ランプの明るさも変わります。セットアップユーティリティの「メイン」メニューの [LED 輝度] を [減光] に設定すると常に暗くすることができます。 スリープ状態または休止状態から復帰するには、電源スイッチをスライドしてください。
バッテリー状態表示ランプ	• 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態 • オレンジ色点灯 / 明滅：充電中 • 緑色点灯：充電完了 • 赤色点灯：残量約 9% 以下 • 赤色点滅、オレンジ色点滅：「バッテリーの Q&A」の「バッテリー状態表示ランプが点滅している」（➡ 70 ページ）をご覧ください。

はじめに

画面の表示について

電源を入れ、Windowsにログオンしたとき、最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。

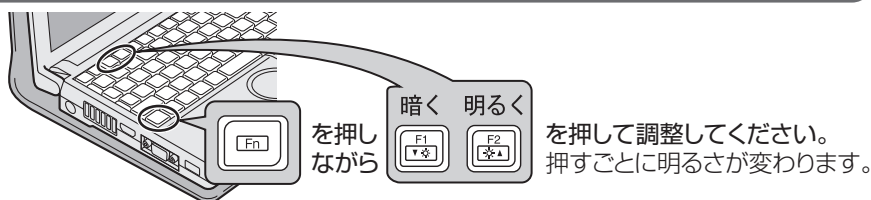
表示例	名　称	働き
など	デスクトップのアイコン	ダブルクリックすると、アプリケーションソフトが起動したり、ウィンドウが開いたりします。
	スタートボタン（画面左下）	クリックすると、メニューが表示されます。使いたいアプリケーションソフトなどをメニューから選択し、クリックします。
カスタマイズ...	通知領域（画面右下） をクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。	表示されるアイコンにはそれぞれ役割があり、機能設定や状態確認などを行います。通知領域には一部のアイコンのみ表示されます。本書で説明しているアイコンが表示されていない場合は、をクリックして表示させてください。（本書で説明しているアイコンは、各種機能の設定や接続している機器など、環境によって、種類や順序が実際の表示と異なる場合があります。）

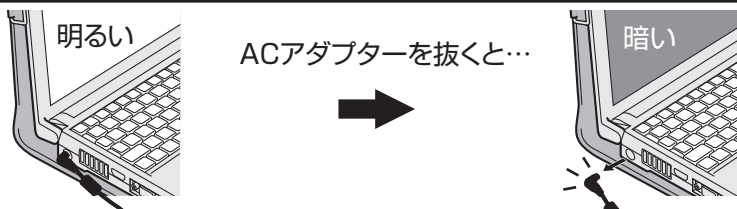
通知領域のアイコン（表示されていない場合は、をクリックすると表示されます）

アイコン	名称と役割
または	スピーカー（音量の設定）
など	ネットワーク接続（有線LANや無線LANの接続設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（インターネット）」または「（無線機能）」
または	「バッテリ メーター」（ACアダプターを接続するとが表示。「バッテリ メーター」の表示や電源オプションの調整に使用） ➡『操作マニュアル』「（バッテリー）」の「駆動時間について」
または	アクションセンター（セキュリティなどに関する設定状態の確認や設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「アクションセンター」
または	無線機能（無線機能の確認やIEEE802.11aの有効／無効の切り替えに使用） ➡『操作マニュアル』「（無線機能）」
または	ポインティングデバイス（ホイールパッドの各種設定に使用）
または	ホイールパッドユーティリティ（ホイールパッドユーティリティの状態確認や設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（ホイールパッド）」
	Realtek HDオーディオマネージャ（サウンドの詳細設定）
	電源プラン拡張ユーティリティ（電源プランの切り替えや各種省電力の設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「利用シーンに合った電源設定をする（電源プランの設定）」
	PC情報ポップアップ（Web更新情報やバッテリーに関する情報などを表示） お使いの機種によって機能が異なります。 ➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」
	ネットセレクター2（接続したネットワークに合わせて設定を切り替えるために使用。） ➡『操作マニュアル』「（インターネット）」の「接続の設定を切り替える」
	プロジェクターヘルパー（表示モードの切り替えや画面設定の保存／復元に使用） ➡『操作マニュアル』「（アプリケーションソフト）」の「プロジェクターヘルパー」

アイコン	名称と役割
や など	ピークシフト制御ユーティリティ（ピークシフト制御の有効 / 無効の切り替えや設定画面の表示に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「電力を上手に使う（ピークシフト制御）」
または	Hotkey設定（Hotkey設定画面で[Fnキーの状態を画面に表示する]にチェックマークを付けている場合のみ表示。Fnキーのロック状態の確認に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（キーボード）」の「Hotkey設定」
	ズームビューアー（ズームビューアーを起動している場合のみ表示。拡大表示ウィンドウの表示やズームビューアーの各種設定に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面の一部を拡大表示する」
または	USBキーボードヘルパー（USBキーボードヘルパーをセットアップしている場合のみ表示。USBキーボードを接続すると、テンキーモードに切り替わります。） ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「USB機器を接続する」
	ディスプレイヘルパー（ディスプレイヘルパーをセットアップしている場合のみ表示。外部ディスプレイ接続時、拡張デスクトップモードでのウィンドウ操作に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「アナログディスプレイを使う」または「HDMI対応ディスプレイを接続する」
	ぴったりビュー（ぴったりビューをセットアップしている場合のみ表示。ぴったりビューパネルの表示や画面全体の拡大表示、ぴったりビューの各種設定に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面全体を拡大表示する」
	インテル(R) My WiFi テクノロジー

画面の明るさを調整する

明るくすると、バッテリーの駆動時間は短くなります。

ACアダプターを抜くと暗くなる

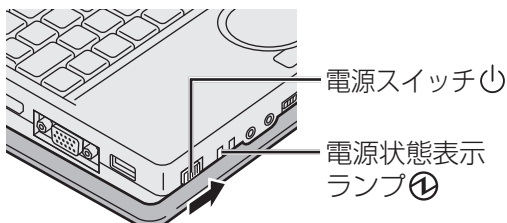
工場出荷時、ACアダプターを接続していない状態では画面を暗くするように設定されています。
画面を暗くすると消費電力を節約できるので、バッテリーでの使用に適しています。

ACアダプターを抜くと暗くなるのは、ACアダプターを接続しているときと接続していないときの明るさを、パソコンが別々に覚えているためです。また、明るさの調整は電源プランでも設定できます。（電源プランごとに設定可能）
Fnキーで明るさを調整すると、電源プランで設定した明るさも連動して変更されます。
詳しくは『困ったときのQ&A』「液晶 / 画面表示」「明るさが変わった（暗くなった / 明るくなった）」の「電源プランで設定する」をご覧ください。

電源を入れる/切る

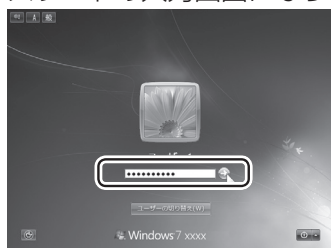
電源を入れる

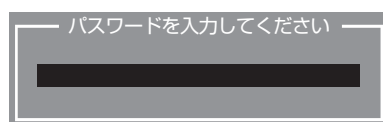
初めて電源を入れるときの操作は『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。

1 **電源スイッチ⏻をスライドし、電源状態表示ランプ⏻が点灯したら手を離す。**

● 電源スイッチを4秒以上スライドしたり、連続してスライドしたりしないでください。

● 起動中（ポインターが◯から通常のもの↖に戻り、ハードディスクアクセスランプ⛁が消えるまで）は、次のことをしないでください。
- ACアダプターを抜き挿しする。
- 電源スイッチを操作する。
- キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
- ディスプレイを閉じる。
- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを抜き挿しする。

2 **Windowsにログオンする。**

● パスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面になります。

パスワードを入力して➡をクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。
文字入力の設定がキャップスロックやテンキーモード（➡27ページ）になっていないことを確認してください。

電源を入れた後、すぐに下の画面が表示されたら…

本機のセキュリティのため、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されています。パスワードを入力し Enter を押してください。正しく入力すると起動します。

3回間違えるかパスワードを入力せずに約1分経過すると、電源が切れます。

画面の表示が消えたら…

お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと省電力機能が働き、画面が暗くなったり画面の表示が消えたりします。

ホイールパッド、キーボードを操作すると元の状態に戻ります。
動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。
また、本機を操作しないと、スリープ状態に入ります。電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。（➡43ページ）

一定時間アクセスがないと（工場出荷時の設定）

スリープ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。
ACアダプターを接続しておくことをお勧めします。

Windowsが起動するまでの時間を短縮するには…

クイックブートマネージャーを使ってセットアップユーティリティの「起動」メニューの[Boot Mode]を[高速]に設定したり、Windowsの設定を変更したりすることで、パソコンの電源を入れてからWindowsが起動するまでの時間を短縮することができます。

➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「Windowsが起動するまでの時間を短くする」

使ってみる

電源を切る

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。

2 電源を切る。

ホイールパッドを使って電源を切る

① (スタート)をクリックする。

② [シャットダウン]をクリックする。

電源が切れます。

起動し直したい場合(再起動)は
-[再起動]をクリックします。

キーボードを使って電源を切る

① を押し、を1回押して[シャットダウン]を選ぶ。

② Enter を押す。

Alt + F4 を押して、終了画面を表示させることもできます。

3 電源状態表示ランプが完全に消灯してからディスプレイを閉じる。

重 要

● **電源が切れるまでは、次のことをしないでください。**

- ACアダプターを抜き挿しする。
- 電源スイッチを操作する。
- キーボード、ホイールパッド(外部マウス)に触れる。
- ディスプレイを閉じる。

● **電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。**

● **長時間ご使用にならないときは**

- 節電のため、パソコン本体の電源を切り、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください(電源コンセントに接続したままにしておくと、ACアダプター単体で最大0.3Wの電力を消費しています)。
- パソコン本体の電源が切れている状態でもパソコン本体は電力を消費します。長時間ご使用にならなかった場合は、次回お使いになる前にバッテリーを充電するか、ACアダプターを接続してください。
  バッテリー残量保持期間は下記の表のとおりです。

席を外すなど、操作を中断する

「スリープ状態」または「休止状態」の機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます(➡41ページ)。

● Fn + F7 を押すと、スリープ状態になります。

● Fn + F10 を押すと、休止状態になります。

● 電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。

● バッテリー残量保持期間

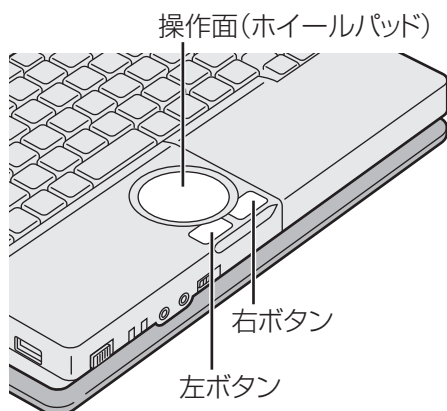
バッテリーパックの種類	バッテリーパック(L)	バッテリーパック(S)
スリープ状態※1	約6日 (LAN Wake Up機能有効時:約5.5日)	約4日 (LAN Wake Up機能有効時:約3.5日)
	スリープ状態でバッテリー残量がなくなると保持されていたデータは失われます。	
休止状態	約30日 (LAN Wake Up機能有効時:約13日)	約20日 (LAN Wake Up機能有効時:約9日)
電源オフ	約30日 (Power On by LAN機能有効時:約13日)	約20日 (Power On by LAN機能有効時:約9日)

LAN Wake Up機能有効時でも、LANケーブルを接続していない場合は少し長くなります。

LAN Wake Up機能およびPower On by LAN機能については、『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「他のパソコンから本機をリジューム/起動する」をご覧ください。

※1 メインメモリー標準8 GB搭載モデル(拡張メモリースロットにRAMモジュールの増設なし)の場合は保持期間が異なります。メインメモリー標準8 GB搭載モデルの「仕様」をご覧ください。

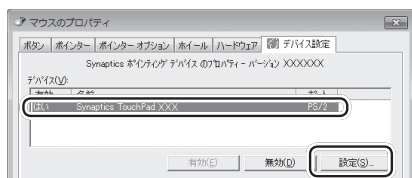
ホイールパッドを使う

マウスと同じようにポインターを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
使い方については、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」をご覧ください。
お使いのネットワーク環境によっては、ホイールパッドユーティリティの起動に1分以上かかる場合があります。

ホイールパッドの感度を調節する

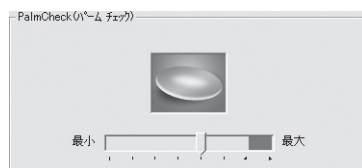
「PalmCheck™（パームチェック）」と「タッチ感度」の2つの感度を調節することで、ホイールパッドを使いやすく設定することができます。

1 (スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]をクリックする。

2 [デバイス設定]をクリックする。

3 [デバイス]内のデバイス名（例：Synaptics TouchPad）をクリックして、[設定]をクリックする。

4 [ポインティング]をダブルクリックし、[感度]をダブルクリックして、[PalmCheck（パームチェック）]または[タッチ感度]をクリックする。

●PalmCheck（パームチェック）

キーボード操作時、ホイールパッドを操作するつもりがないのに手のひらがホイールパッドに触れてポインターが動いてしまう場合に調節します。

- スライドバーを[最大]側へドラッグすると、意図していないときにポインターが動いてしまうことを防ぐことができます。
- スライドバーを[最小]側へドラッグすると、手のひらがホイールパッドに軽く触れても、ポインターが動くようになります。

●タッチ感度

指がホイールパッドに軽く触れただけでポインターが動いてしまう場合、またはホイールパッド上で指を動かしてもポインターがなかなか動かない場合に調節します。

- スライドバーを[重く]側へドラッグすると、ホイールパッドに強く触れないとポインターが動かなくなります。
- スライドバーを[軽く]側へドラッグすると、ホイールパッドに軽く触れただけでポインターが動くようになります。

5 調節した後、[OK]をクリックする。

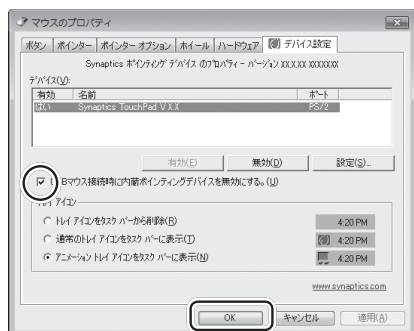
6 「マウスのプロパティ」画面で、[OK]をクリックする。

ホイールパッドの有効 / 無効を切り替える

USBマウスの抜き挿しに連動してホイールパッドの有効 / 無効を切り替えることができます。

重 要

- 次の場合は、この機能が動作せずUSBマウス接続時もホイールパッドが有効になります。
  - Windowsを起動した直後
  - ユーザーの簡易切り替えやログオフを行ったときに表示されるユーザーの切り替え画面やロック画面
- マウス接続用のPS/2ポートを内蔵したUSBキーボードを接続した場合、USBキーボードにマウスを接続していなくても、ホイールパッドは無効になります。
- 「ホイールパッドユーティリティの設定」画面の[ホイールパッド機能を使用する]にチェックマークが付いていても、USBマウス接続時はホイールパッドおよびスクロール機能を使うことができません。
- USBマウスによってはこの機能が動作しない場合があります。

1. （スタート）-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]をクリックする。
2. [デバイス設定]をクリックする。
3. [USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

ホイールパッドの取り扱い

ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。

- 操作面に物を置いたり、爪など先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。
- ホイールパッドに汚れが付着した場合、ガーゼなどの乾いた柔らかい布か、水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。
- ベンジンやシンナー、消毒用アルコール、中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど塗装面に影響を与えることがあります。使用しないでください。

メ モ

ダブルクリックの速さやボタンを押したときの動作は、（スタート）-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]をクリックし、「マウスのプロパティ」画面で変更できます。

Fnキーを使う

『操作マニュアル』「（キーボード）」の「Fnキーを使う」では、さらに詳しく説明しています。

Fnを押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーを押すと、次の表のような機能が働きます。

- FnとCtrl（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➡53ページ）：Fnの代わりにCtrl（左側）を押してください。

キー	機能	画面表示
Fn ＋ F1 Fn ＋ F2	内部LCDの明るさを調整します。 Fn＋F1（暗くする）/Fn＋F2（明るくする）	
Fn ＋ F3 または ⊞ ＋ P （Windows起動後）	キーを押すと右の画面が表示され、外部ディスプレイを接続している場合は画面の表示モードを切り替えることができます（Fn＋F3を押して表示モードを選んだ後、Enterを押すまで切り替わらない場合があります）。3つのディスプレイに画面を同時表示することはできません。	コンピューターのみ　複製　拡張　プロジェクターのみ 外部ディスプレイに画面を表示している場合は[プロジェクターの切断]と表示されます。
Fn ＋ F4	スピーカーとオーディオ出力端子からの音声出力のオン/オフを切り替えます。ビープ音が鳴る設定に変更していても、音声出力をオフにするとビープ音も鳴らなくなります。	オン オフ（ミュート）
Fn ＋ F5 Fn ＋ F6	スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。 Fn＋F5（小さくする）/Fn＋F6（大きくする）	
Fn ＋ F7	現在のパソコンの状態がメモリーに保存されてスリープ状態に入ります。	–
Fn ＋ F8	プロジェクターヘルパーを使って保存した画面の設定（表示モードと画面の解像度やリフレッシュレートなど）を復元します。表示された「プロジェクターヘルパー」画面で復元する設定を選び、[OK]をクリックしてください。	–
Fn ＋ F9	バッテリーの残量を表示します。	97% バッテリーパック装着時（表示は一例です。） --% バッテリーパック未装着時 67% バッテリーのエコノミーモード（ECO）が有効時（右上にが表示されます）（表示は一例です。）
Fn ＋ F10	現在のパソコンの状態をハードディスクに保存して休止状態に入ります。	–
Fn ＋ F11	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（SysRq）	–
Fn ＋ F12	画面全体をクリップボードにコピーします。（PrtSc） Fn＋Alt＋F12を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	–
Fn ＋ NumLk Fn ＋ Ins Fn ＋ Del	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。 Fn＋NumLk：ScrLk　Fn＋Ins：Pause Fn＋Del：Break	–
Fn ＋ ←	最初のページに移動またはポインターを行の先頭に移動（Home）	–
Fn ＋ →	最後のページに移動またはポインターを行の最後に移動（End）	–
Fn ＋ ↑	前のページに移動（PgUp）	–
Fn ＋ ↓	次のページに移動（PgDn）	–

セキュリティについて

『操作マニュアル』「（セキュリティ）」では、さらに詳しく説明しています。

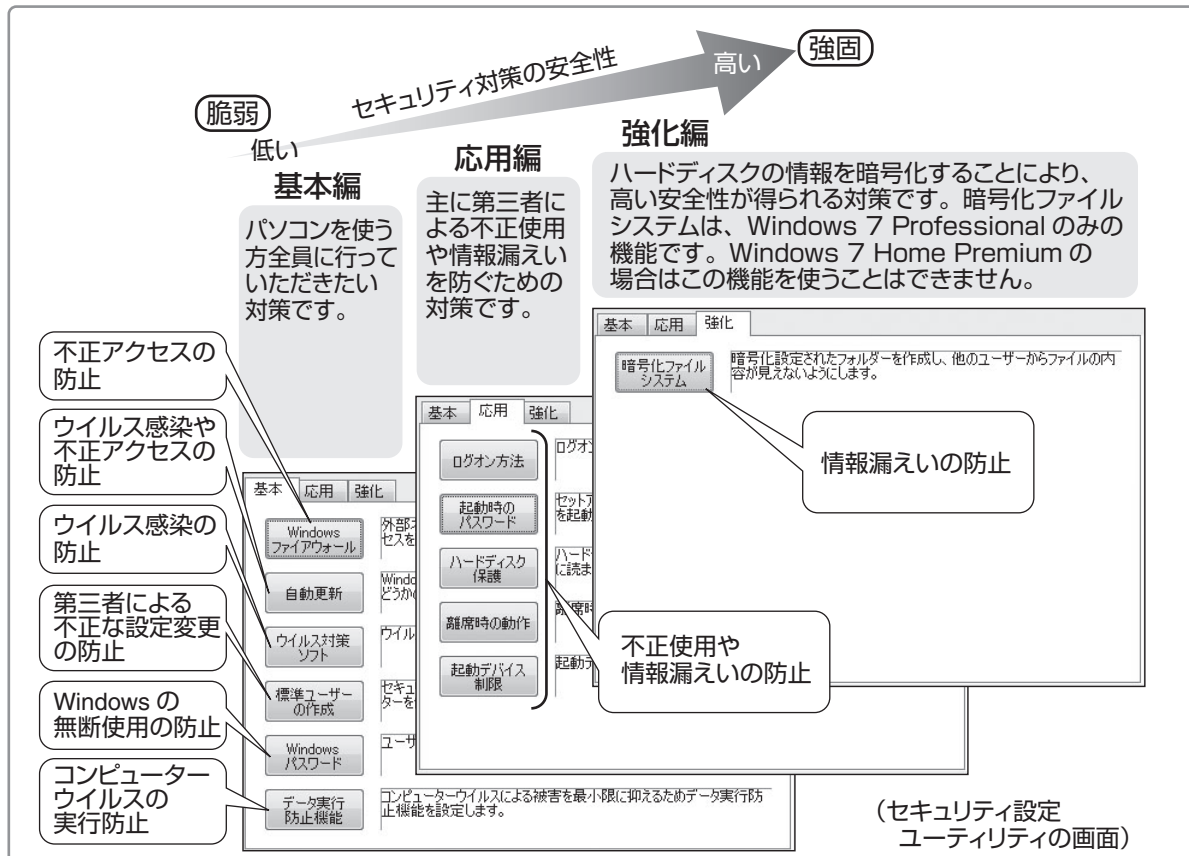
● **セキュリティ機能を使うときのお願い**
- お客さまが設定されたパスワードなどのセキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。
- 「パソコンが起動しない」や「インターネットにアクセスしたら、ウイルスに感染してしまった」など、思わぬトラブルや故障に備えて、大切なデータはバックアップを取り、安全な場所に保管しておくことをお勧めします。
- 情報漏えいやウイルス感染などによる損害について、弊社では一切責任を負いかねます。

ステップ別セキュリティ対策

ここでは、ご利用の環境や用途に合わせて、お客さまに行っていただきたいセキュリティ対策を「基本編」「応用編」「強化編」のステップに分けて紹介します。ステップが進むほど安全性は高くなります。

- 「基本編」「応用編」「強化編」それぞれのセキュリティ対策から、必要なものを組み合わせて設定してください。
- 「強化編」にあるデータの暗号化だけでは、安全性は高くなりません。必ず「基本編」「応用編」のセキュリティ機能と組み合わせて使ってください。
- 会社のネットワーク管理者から設定の指示などがある場合は、その指示に従ってください。本書に記載している内容がすべての環境に適しているわけではありません。

（セキュリティ設定ユーティリティの画面）

セキュリティについて

セキュリティ設定ユーティリティで設定する

本機には、各種セキュリティ機能の一元管理や設定が簡単に行えるセキュリティ設定ユーティリティが用意されています。起動時のパスワードやハードディスク保護など、セキュリティ上重要な項目の解除はセキュリティ設定ユーティリティからは行えません。それらを解除する場合は、セットアップユーティリティで行ってください。（➡50ページ）

一部の設定項目については、保存しておくことができます。これにより、パソコンの使用状況に応じてセキュリティの設定を一括して切り替えたり、元の設定に戻すことができます。別のパソコンのセキュリティ設定ユーティリティで保存した設定を本機に読み込み、パソコンのセキュリティ設定の内容を合わせることもできます。

メモ

- セキュリティ設定ユーティリティ使用中は、セキュリティ設定ユーティリティで設定できる機能を、個別に設定したり変更したりしないでください。
- Windowsのパスワード/標準ユーザーの作成について
- Windowsのセキュリティを安全性の高い設定にしていたり、他のセキュリティソフトを使っていたりすると、作成するパスワードやユーザーアカウントに特定の条件（文字数や複雑さなど）が必要になる場合があります。
- パスワードの入力は、大文字 / 小文字の違いに注意してください。
  Shift を押しながら Caps Lock を押してキャップスロックにしていたり、NumLk を押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力 / 設定されてしまうおそれがあります。
- Windowsのパスワードとして、漢字などの全角文字は入力できません。
- 一部のユーザーアカウントは、Windowsのシステム設定によって、表示されない場合があります。
- パソコンまたはご使用のアカウントがドメインに参加している場合、セキュリティ設定ユーティリティはご使用いただけません。

1 (スタート)-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[セキュリティ]-[セキュリティ設定ユーティリティ]をクリックする。

Windowsの動作上重要な項目を設定/変更する場合は、管理者のユーザーアカウントでログオンして、操作してください。標準ユーザーでログオンしたり、必要な設定がされていなかった場合、設定できない項目はグレー表示になり、設定や変更ができません。

メモ

セキュリティ設定ユーティリティが表示されない場合は、次の手順でインストールしてください。

① (スタート)をクリックし、[プログラムとファイルの検索]に[c:¥util¥secutil]と入力して Enter を押す。

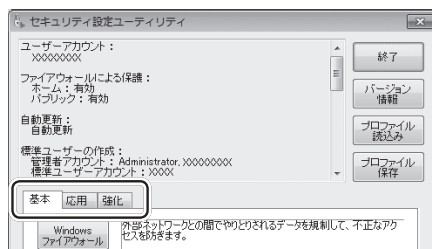
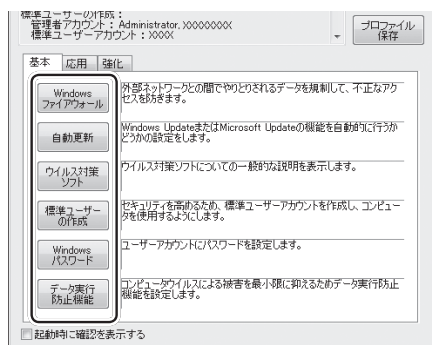
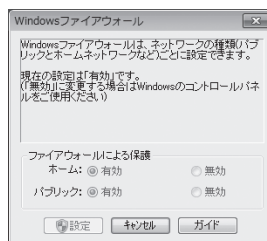
②「secutil」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックする。
setupという名前のファイルが2つ以上ある場合は、[種類]に[アプリケーション]と表示されているファイルを右クリックしてください。

③「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックする。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[はい]をクリックします。

以降は画面の指示に従ってください。

2 「ご利用確認」画面の内容をよくお読みのうえ、[はい]をクリックする。

[いいえ]をクリックした場合、セキュリティ設定ユーティリティはお使いいただけません。

3 設定するセキュリティを[基本]、[応用]、[強化]から選択する。

4 設定する項目をクリックする。

[Windowsファイアウォール]をクリックした場合は、次の画面が表示されます。

以降は画面の指示に従ってください。

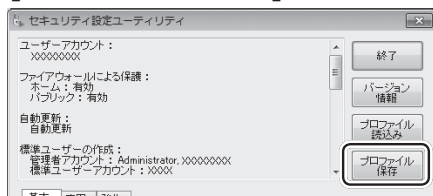
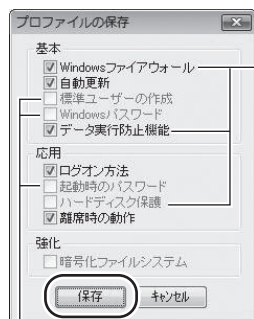
5 設定が終わったら、[終了]をクリックする。

使ってみる

セキュリティについて

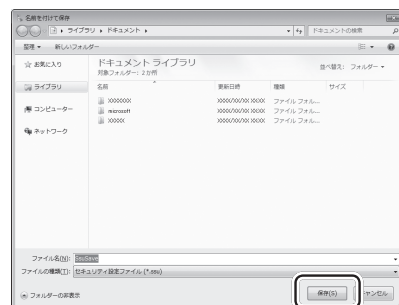
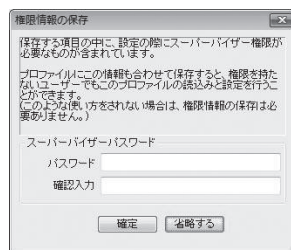
セキュリティの設定内容を保存する

現在設定されている内容を保存します。

1 [プロファイル保存]をクリックする。

2 保存する項目をクリックしてチェックマークを付け、[保存]をクリックする。

Windows ファイアウォール、データ実行防止機能、ハードディスク保護は、有効に設定されている場合のみ選択できます。

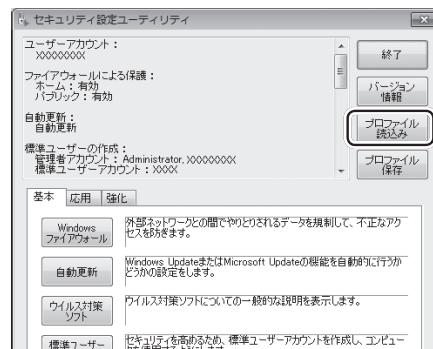
標準ユーザーの作成、Windows パスワード、起動時のパスワードは、設定および変更した場合に選択できます。

- 保存できない項目はグレーで表示されます。

3 保存するフォルダーを選択し、[保存]をクリックする。

各機能を設定するときにスーパーバイザーパスワードが必要となる項目を保存する場合は、次の画面が表示されます。

- 項目を入力し、[確定]をクリックするとスーパーバイザーパスワードがプロファイルに保存されるため、読み込み時にパスワードの入力が不要になります。
- [省略する]をクリックするとパスワードなどはプロファイルに保存されません。読み込み時にパスワードの入力が必要になります。

セキュリティの設定内容を読み込む

設定内容を読み込み、セキュリティの設定を反映します。

1 [プロファイル読込み]をクリックする。

2 読み込むファイルを選択して、[開く]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

- 設定が読み込まれます。
  保存時に、「権限情報の保存」画面で[省略する]をクリックした設定を読み込んだ場合は、スーパーバイザーパスワードの入力画面が表示されます。
- 画面に実行結果が表示されます。

重要

●以下の機能を解除する設定は、セキュリティの問題上保存できません。
- **Windows ファイアウォール**
- **データ実行防止機能**
- **ハードディスク保護**

●設定済みの起動時のパスワード(スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード)は、読み込み時に変更することはできません。

●以下の機能は、セキュリティ設定ユーティリティで設定するときにスーパーバイザーパスワードの入力が必要です。
- **データ実行防止機能**
- **ハードディスク保護**

●以下の機能は、セキュリティ設定ユーティリティで設定するときに管理者のユーザーアカウントが必要です。
- **Windows ファイアウォール**
- **自動更新**
- **標準ユーザーの作成**
- **ログオン方法**

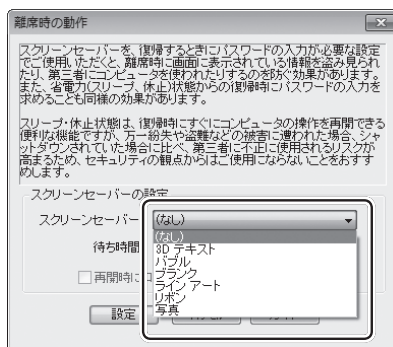
●暗号化ファイルシステムで暗号化したフォルダーを複数作成した場合、最後に作成したフォルダーの情報のみ保存されます。

●読み込みの結果は、「ドキュメント」フォルダーに ssulog.txt というファイル名で保存されます。

メモ

●セキュリティ設定ユーティリティを起動せずに設定を読み込むこともできます。正常に読み込みと設定が行われた場合は実行結果が表示されません。

- 保存した設定のファイルをエクスプローラーなどでダブルクリックする。
- セキュリティ設定ユーティリティを起動するときに引数で指定する(ネットワーク管理者向け)。
  ワイルドカードは使用できません。

●[離席時の動作]で設定されるスクリーンセーバーについて
Windows のシステムフォルダーにインストールされているスクリーンセーバーを一覧で表示します。一覧に表示された識別名またはファイル名を選択してください。

バッテリーについて

『操作マニュアル』「(バッテリー)」では、さらに詳しく説明しています。

駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使い方や使用環境によって大きく変わります。

本機では、他のメーカーとの比較のために共通の測定法として一般社団法人電子情報技術産業協会の「JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)」(以降、JEITA測定法と表記)を採用しています。

重要

本書やカタログなどに記載のJEITA測定法に基づいて測定された数値は、画面を暗くするなど消費電力を抑えた状態で測定しているため、画面を明るくして使っていたり、アプリケーションソフトをたくさん起動していたりすると、駆動時間はJEITA測定法の駆動時間より短くなります。

バッテリー駆動時間の測定方法

JEITA測定法に基づいて測定された数値は、次の2つの方法でバッテリーが動作する時間を測定し、その平均を取った値です。

● **負荷をかけた状態での測定方法(測定法a)**
内部LCDの輝度(明るさ)を20cd/m^{2}以上に設定し、指定の動画ファイル(MPEG1形式)をハードディスクから読み出しながら再生し続ける。

輝度の設定方法(20cd/m^{2}以上に設定)

① (スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[バッテリ設定の変更]をクリックする。
② お使いの電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
③ [詳細な電源設定の変更]をクリックし、[ディスプレイ]をダブルクリックする。
④ [ディスプレイの明るさ]をダブルクリックし、各項目を20%に設定して[OK]をクリックする。
(20%に設定することで、20cd/m^{2}以上に設定されます)

● **負荷をかけない状態での測定方法(測定法b)**
内部LCDの輝度を最も暗い状態に設定し、デスクトップ画面を表示したまま放置する。

輝度を最も暗い状態に設定する方法

① (スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[バッテリ設定の変更]をクリックする。
② お使いの電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
③ [詳細な電源設定の変更]をクリックし、[ディスプレイ]をダブルクリックする。
④ [ディスプレイの明るさ]をダブルクリックし、各項目を0%に設定して[OK]をクリックする。

詳細な測定方法については、JEITAのWebページ(http://it.jeita.or.jp/mobile/)をご覧ください。

駆動時間を長くするには

次のようなことを行うことで、バッテリーの駆動時間を長くすることができます。

● 電源プランを[パナソニックの電源管理(省電力)]に変更する。
パフォーマンスを抑えて電力を節約します。
● Fn + F1 で内部LCDの明るさを暗くする。
● スリープ状態/休止状態を活用する。
パソコンからしばらくの間離れるときは、Fn + F7 でスリープ状態、または Fn + F10 で休止状態にしてください。
● しばらく使わないときはディスプレイの電源を自動的に切るように設定する。
● 通信しないときは無線切り替えスイッチで無線機能の電源を切る。
● 使わない周辺機器(USB機器、外部マウスなど)は取り外す。
● CPUに大きな負荷がかかるアプリケーションソフトを使用しない。

バッテリーパックの劣化を抑える

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの耐久年数は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーパックの劣化を抑え、耐久年数を少しでも長くするためには、次の点をお勧めします。

● バッテリーのエコノミーモード(ECO)を有効にする。
● 周囲の温度が10℃~30℃の場所で充電する。
● バッテリーの充電は1日1回以内。
● パソコンの電源を切った状態で充電する。

スリープ状態 / 休止状態を使う

しばらく席を外すなど、一定時間操作しないときは、スリープ状態や休止状態を使って消費電力を抑えることができます。
アプリケーションソフトを終了することなく電源を切るため、電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態（アプリケーションソフトやファイル）が画面に表示されます（これを「リジューム」といいます）。このため、すぐに操作を始めることができます。

スリープ状態と休止状態の違い

機能	状態の保存先	リジュームまでの時間
スリープ状態	メモリー	短い
休止状態	ハードディスク	やや長い

機能	ACアダプターの接続またはバッテリーパックの取り付け
スリープ状態	必要： スリープ状態のときに電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。
休止状態	不要： データ保持のために電力は必要ありません。しかし、ACアダプターを接続またはバッテリーパックを取り付けているとき、本体は電力を消費します。

重 要

電源が切れている状態でも電力を消費します。バッテリー残量保持期間については、31ページをご覧ください。

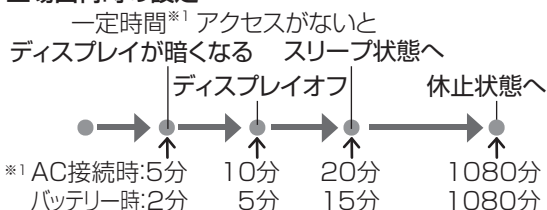
スリープ状態 / 休止状態に移行するまでの時間を変更 / 無効にする

工場出荷時は、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、スリープ状態 / 休止状態に移行します。移行するまでの時間は変更することができます。また、ディスプレイの電源が切れるまでの時間変更もできます。

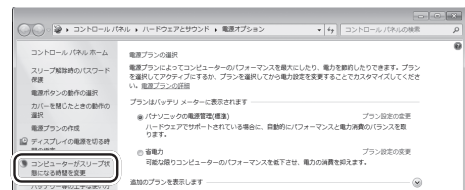
工場出荷時の設定

一定時間[※1]アクセスがないと

ディスプレイが暗くなる → ディスプレイオフ → スリープ状態へ → 休止状態へ

	ディスプレイが暗くなる	ディスプレイオフ	スリープ状態へ	休止状態へ
※1 AC接続時	5分	10分	20分	1080分
バッテリー時	2分	5分	15分	1080分

スリープ状態に移行する時間を変更する場合は手順1から、休止状態に移行する時間を変更する場合は手順1の後、手順5から行います。

1 通知領域の または をクリックし、［その他の電源オプション］をクリックする。

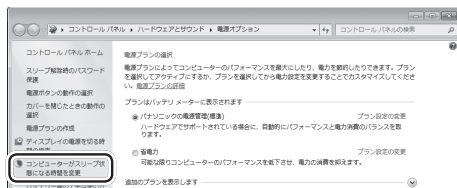
2 ［コンピューターがスリープ状態になる時間を変更］をクリックする。

3 ［ディスプレイを暗くする］、［ディスプレイの電源を切る］または［コンピューターをスリープ状態にする］までの時間を設定する。

- ディスプレイを暗くしないようにするには［ディスプレイを暗くする］を［なし］に設定します。
- スリープ状態に移行しないようにするには［コンピューターをスリープ状態にする］を［なし］に設定します。
- ディスプレイの電源が切れないようにするには、［ディスプレイの電源を切る］を［なし］に設定します。

4 ［変更の保存］をクリックする。

スリープ状態への移行時間を変更すると、休止状態に移行する時間が変更になる場合があります。
次の手順で休止状態に移行する時間を確認してください。

5 ［コンピューターがスリープ状態になる時間を変更］をクリックする。

使ってみる

6 [詳細な電源設定の変更]をクリックする。

7 [スリープ]をダブルクリックする。
ここで休止状態へ移行する時間を確認 / 変更する電源プランを選択することもできます。

8 [次の時間が経過後休止状態にする]をダブルクリックする。

9 項目をクリックし、休止状態へ移行するまでの時間を確認 / 変更する。
- 工場出荷時の設定（1080分）よりも長い時間に設定することをお勧めします。短く設定すると、スリープ状態から休止状態へ移行する頻度が高くなります。移行時はハードディスクにデータを書き込むため、持ち運んでいる場合などは振動が加わることもあり、故障の原因になる場合があります。短く設定した場合は、本機を持ち運ばないようにしてください。
- 休止状態に移行しないようにするには、移行するまでの時間を[なし]に設定します。

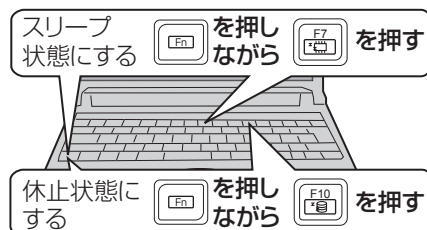
10 [OK]をクリックする。

メモ
スリープ状態 / 休止状態に移行するまでの時間は、電源プランごとに設定できます。

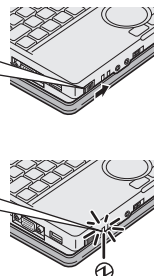
スリープ状態 / 休止状態にする

スリープ状態 / 休止状態にするには、4つの方法があります。
休止状態になるまで1分～2分程度かかる場合があります。画面には何も表示されませんが、そのままお待ちください。

重要
気温が高い場所でCPUに負荷のかかるアプリケーションソフトを連続して動作させた場合、内部温度制御機能が働き、休止状態に入る場合があります。
休止状態に入った場合は、しばらく（5分程度）してから電源を入れてください。

Fnキーを使う

Windowsの終了画面を使う

（スタート）- をクリックし、[スリープ]または[休止状態]をクリックします。

電源スイッチをスライドする

工場出荷時の設定では、電源スイッチを4秒以上スライドしたままにすると、スリープ状態 / 休止状態に移行せず電源が切れます（強制終了）。この場合、保存していないデータは失われます。
省電力機能が有効に設定されているため、電源スイッチをスライドしてもビープ音が鳴りません。
ビープ音を鳴らす場合は、『困ったときのQ&A』「画像 / 動画 / サウンド」の「音が出ない / ビープ音が鳴らない」をご覧ください。
ビープ音を鳴らす設定にしていても、Fn + F4 を押してスピーカーをオフにしている場合、ビープ音は鳴りません。また、Fn + F5 を押してスピーカーのボリュームを小さくしている場合、ビープ音も小さくなります。

● **設定を変更する**

設定を変更することで、スリープ状態ではなく、休止状態やシャットダウン、何もしない設定にすることもできます。
「何もしない」に設定した場合は、スリープ状態 / 休止状態には移行しません。

1 (スタート)-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[電源ボタンの動作の変更]をクリックする。

2 [電源ボタンを押したときの動作]の設定を変更し、[変更の保存]をクリックする。

ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じると、設定に従ってスリープ状態/休止状態に入ります(工場出荷時はスリープ状態に移行します)。
きちんとディスプレイを閉じていなかったり、ディスプレイを閉じた後すぐにディスプレイを開けたりすると、スリープ状態/休止状態に入らないことがあります。

●設定を変更する

設定を変更することで、スリープ状態ではなく、休止状態やシャットダウン、何もしない設定にすることもできます。
「何もしない」に設定した場合は、スリープ状態/休止状態に入りません。

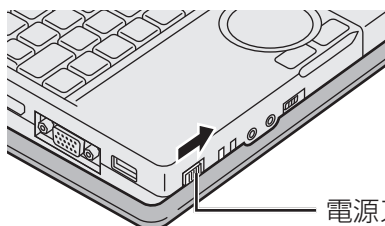
1 (スタート)-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[電源ボタンの動作の変更]をクリックする。

2 [カバーを閉じたときの動作]の設定を変更し、[変更の保存]をクリックする。

リジュームする(スリープ状態/休止状態からの復帰)

リジュームするには、2つの方法があります。

工場出荷時の設定では、スリープ状態/休止状態からのリジューム時に、ログオンしているユーザーアカウントのWindowsパスワードの入力が必要です。

電源スイッチをスライドする

ディスプレイを開ける

次の場合は、ディスプレイを開けるとリジュームします。
- [カバーを閉じたときの動作]を[スリープ状態]や[休止状態]に設定し、ディスプレイを閉じた場合
- スリープ状態/休止状態に入ってからディスプレイを閉じた場合

リジュームしない場合は、電源スイッチをスライドしてください。

メモ

●工場出荷時は、USBキーボードのキーを押したり外付けマウスをクリックしたりすると、スリープ状態からリジュームするように設定されています。
変更方法は、『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「スリープ状態/休止状態を使う」の「リジュームする(スリープ状態/休止状態からの復帰)」をご覧ください。

●リジューム後、Windowsの画面が完全に復帰して初期化などが完了するまで(画面が復帰して約15秒間/ネットワークに接続している場合は約60秒間)、Windowsの終了や再起動を行ったり、スリープ状態/休止状態機能を使用したりしないでください。

重要

セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで[復帰時のパスワード]を[有効]または[自動]に設定すると、スリープ状態/休止状態からのリジューム時にもスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力が必要になります。
パスワード入力を3回間違えたり、1分以上放置したりして入力に失敗すると、次のような動作になります。(このとき電源スイッチでオフすることはできません)

●休止状態からのリジューム時に失敗した場合:
- 次回起動時、「Panasonic」起動画面が表示されても、セットアップユーティリティを起動して設定を変更しないでください。以降、正しくリジュームできなくなる場合があります。
- ディスプレイを開ける方法やLAN Wake Up機能、タスクスケジューラーを使ってリジュームすることができなくなります。

●スリープ状態からの復帰時に失敗した場合:
USBデバイスを使ってリジュームすることができなくなります。

使用上のお願い

スリープ状態/休止状態、リジュームについては、『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「スリープ状態/休止状態を使う」の「使用上のお願い」をよくお読みになってから、ご使用ください。

WiMAXを使う

接続ユーティリティーについては、『操作マニュアル』「（無線機能）」をご覧ください。

WiMAX通信の契約に関するご注意

下記のケースにおいて、WiMAX通信の契約解除の手続きを行っていただかないと、毎月の通信料金が継続して発生するおそれがあります。WiMAX通信の契約解除の方法につきましては、お客さまがご契約のWiMAX通信サービス提供会社さまへお問い合わせいただきますようお願いいたします。

＜主なケース＞

- WiMAXの通信機能が不要になった場合
- 本機の譲渡
- 本機の売却（リサイクル、オークションへの出品を含む）
- WiMAXの修理・交換
- 無線LANの修理・交換

WiMAXを初めて使うとき

お買い上げ後、WiMAXを使って初めて通信を行うときは、WiMAX通信サービス提供会社との契約が必要です。WiMAXサービスエリア内で次の操作を行ってください。

重 要

- WiMAXを使って通信を開始すると、リジューム後、再起動後、ユーザーの簡易切り替え後に自動的に通信が再開されます。また、ログオフしている間も通信が行われる場合があります。
  WiMAXを使わないときは、WiMAXをオフにするか「インテル® PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティー」画面で［切断］をクリックして通信を切断してください。通信を切断しなかった場合、ご契約の料金プランによっては通信料が高額になる場合があります。

インターネットに接続する

1 無線切り替えスイッチを右（ON側）にスライドする。

2 画面右下の通知領域の をクリックして または をクリックして［WiMAX オン］をクリックする。

［WiMAX オン］および［WiMAX オフ］がグレー表示になってクリックできない場合は、セットアップユーティリティの「詳細」メニューの［無線 LAN/WiMAX］が［無効］に設定されています。
セットアップユーティリティを起動して［有効］に設定してください（初期設定は［有効］）（➡55ページ）

重 要

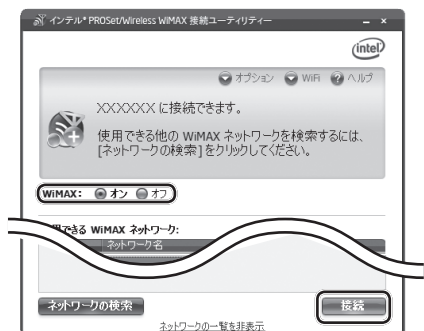
- **WiMAXと無線LANは同じ通信モジュールを使用しているため、同時に使用することはできません。WiMAXをオンにすると無線LANは自動的にオフになり、無線LANをオンにするとWiMAXは自動的にオフになります。**

3 WiMAXサービスエリア内に移動する。

通信可能エリアについては、以下のWebページをご確認ください。
http://www.uqwimax.jp/service/area/

4 デスクトップの （WiMAX接続ユーティリティー）をダブルクリックする。

デスクトップに （WiMAX接続ユーティリティー）が表示されていない場合は、（スタート）-［すべてのプログラム］-［インテル PROSet Wireless］-［WiMAX接続ユーティリティー］をクリックしてください。

5 「インテル® PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティー」画面の[WiMAX:]が[オン]に設定されていることを確認し、[接続]をクリックする。

- [接続]をクリックして「UQ WiMAXに接続しています」と表示された場合は、[OK]をクリックしてください。しばらくすると、WiMAX通信サービス提供会社と契約するための「WiMAX統合ポータルスタートページ」が表示されます。使用状況によっては、「WiMAX統合ポータルスタートページ」が表示されるまで約5分かかる場合があります。また、自動的に表示されない場合があります。その場合は、[切断]をクリックして通信を切断し、再度[接続]をクリックしてください。
「WiMAX統合ポータルスタートページ」が表示されたことを確認してください。
- [接続]がクリックできない場合は、WiMAXがオフに設定されている、またはサービスエリア外で操作している場合があります。画面の内容を確認してください。

6 WiMAX統合ポータルの画面でWiMAX通信サービス提供会社を選び、各社のオンライン契約画面の指示に従って必要事項の入力などを行う。

入力内容はWiMAX通信サービス提供会社によって異なります。詳しくは、WiMAX通信サービス提供会社へお問い合わせください。

7 デスクトップの をダブルクリックする。

デスクトップに（WiMAX接続ユーティリティー）が表示されていない場合は、（スタート）-[すべてのプログラム]-[インテル PROSet Wireless]-[WiMAX接続ユーティリティー]をクリックしてください。

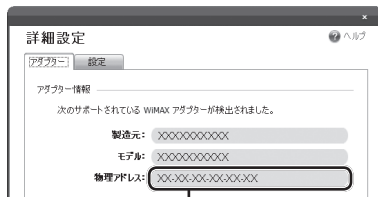
8 [接続]をクリックする。

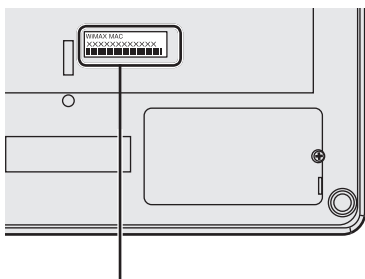
- [接続]がクリックできない場合は、WiMAXがオフに設定されている、またはサービスエリア外で操作している場合があります。画面の内容を確認してください。

メモ

- WiMAXを使わないときは、WiMAXをオフにするか「インテル® PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティー」画面で[切断]をクリックして通信を切断してください。
通信を切断しなかった場合、スリープや休止状態に入った後にリジュームしたとき自動的に接続します（使用状況によっては、自動的に接続されない場合もあります）。
通信を切断しなかった場合、ご契約の料金プランによっては通信料が高額になる場合があります。
- 契約は、WiMAXを使って初めて接続するときのみ必要です。2回目以降は、手順4～6は不要です。

MACアドレスについて

パソコンの修理時など、事前にWiMAX通信サービス提供会社にMACアドレスを通知しなければならない場合があります。デスクトップの（WiMAX接続ユーティリティー）をダブルクリックし、「インテル® PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティー」画面で[オプション]をクリックして、[詳細設定]をクリックしてください。MACアドレスを確認することができます。
デスクトップに（WiMAX接続ユーティリティー）が表示されていない場合は、（スタート）-[すべてのプログラム]-[インテル PROSet Wireless]-[WiMAX接続ユーティリティー]をクリックしてください。

MACアドレス
（12けたの英数字）

MACアドレスはパソコン本体の底面にも記載されています。
パソコンの電源が入らないなど、「インテル® PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティー」画面を表示できない場合は、パソコン本体の底面で確認してください。ジャケットを取り付けている場合は取り外して確認してください。
（イラストは一例です。記載位置はモデルによって異なる場合があります。）

MACアドレス
（12けたの英数字）

メモリー容量を増やす

本機には拡張メモリースロットが１つ用意されています。RAMモジュールを増設して、搭載されているメモリー容量を増やすことにより、Windowsやアプリケーションソフトの処理速度を上げることができます（お使いの使用条件により効果は異なります）。
モデルによっては、お買い上げ時にRAMモジュールが増設済みの場合があります。その場合は増設できません。

重 要

次のことにご注意ください。

- RAMモジュールはCF-BAD02GUまたはCF-BAD04GUなどの推奨品をお使いください。
  推奨品については、弊社の最新のカタログやWebページでご確認いただけます。推奨以外のRAMモジュールを取り付けると、正常に動作しなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
  また、場合によっては発熱によりカバーが変形する場合があります。
- 使用可能なRAMモジュールの仕様については、「仕様」（➡91ページ）をご覧ください。
- 推奨以外のRAMモジュールを使用した場合や誤った方法で取り付けまたは取り外した場合の故障や損害について、弊社では責任を負うことはできません。
  RAMモジュールの種類や取り付け方法をご確認のうえ、正しい方法で装着してください。
- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。
  取り付け/取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触れないでください。
- RAMモジュールの取り付け/取り外しは、パソコンの電源を切り、ACアダプターやバッテリーパックを取り外してから行ってください。
- ネジの溝をつぶさないよう、ネジの大きさに合ったドライバーをお使いください。

RAMモジュールの取り付け

1 RAMモジュール（別売り）を用意する。

2 パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。

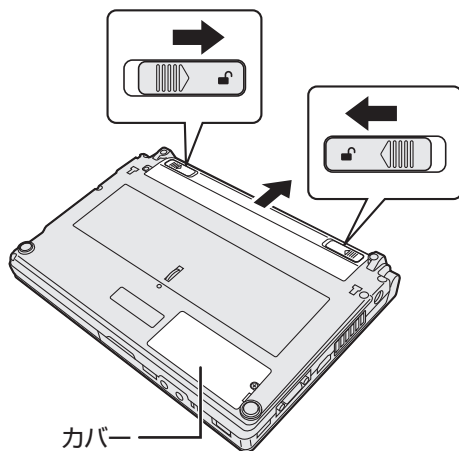
スリープ状態/休止状態のときに、取り付け/取り外しを行わないでください。

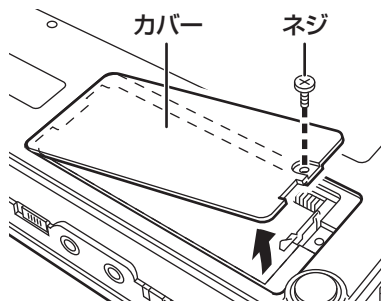
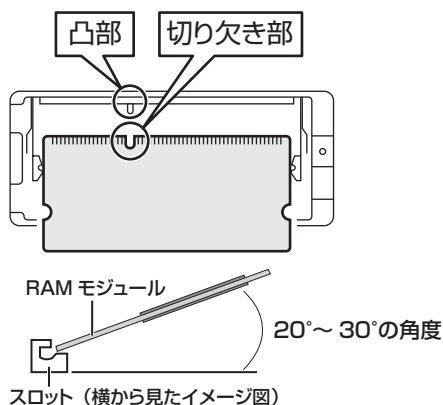
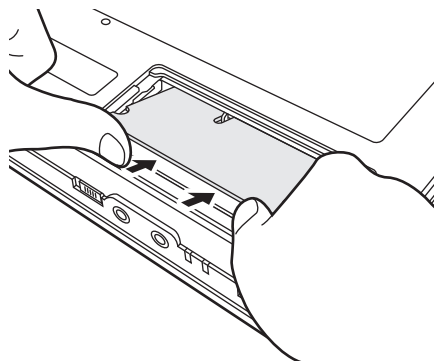
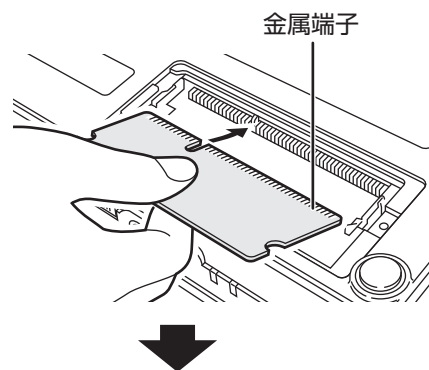
3 ジャケットを取り付けている場合は取り外し、本体を裏返す。

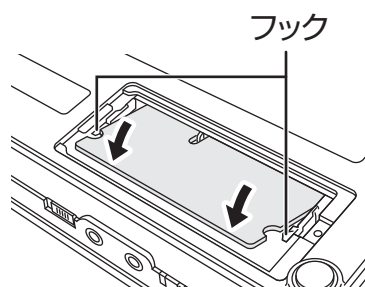
ジャケットの取り外し方法は、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「3 ジャケットを取り付ける」をご覧ください。
（ジャケットが付属していないモデルをお使いの場合は、ジャケット（別売り）に付属の取扱説明書をご覧ください。）

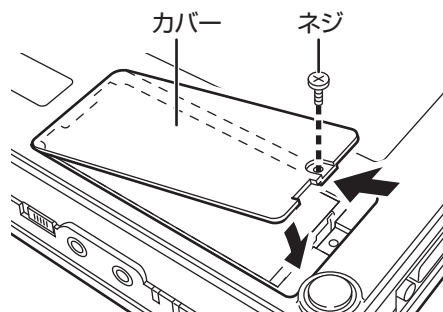
4 左右のラッチをロック解除🔓の方向にスライドした状態で、本体と平行にバッテリーパックを押し出す。

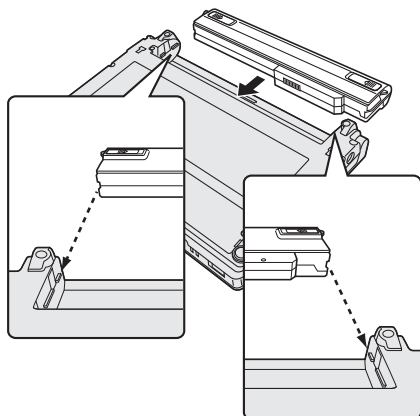
ラッチがロックされた状態で、無理にバッテリーパックを取り外さないでください。バッテリーパックが破損するおそれがあります。

使ってみる

5 **ネジを取り外し、カバーを引き抜いて外す。**

拡張メモリースロットのカバーの位置は、手順4をご覧ください。

6 **スロットの凸部とRAMモジュールの切り欠き部の向きを合わせて持ち、スロットと平行にRAMモジュールを軽く合わせる。**

7 **金属の端子が見えなくなるまで、スロットと平行にしっかりと挿し込む。**

- 挿し込みにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きを確認してください。
- しっかりと挿し込まずに次の手順を行うと、スロットが破損する場合があります。

8 **左右のフックでロックされるまで倒す。**

倒しにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きや挿し込み具合を確認してください。

9 **カバーを取り付け、ネジで固定する。**

10 バッテリーパックの左右にあるくぼみとパソコン本体の突起が合うように、矢印の方向に平行にスライドして取り付ける。

バッテリーパックの向きに注意してください。

11 バッテリーパックがしっかりと固定されていることを確認する。

左右のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。左右のラッチが正しくロックされていることを確認してください。ロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。

12 ジャケットとACアダプターを取り付ける。

ジャケットの取り付け方法は、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「3 ジャケットを取り付ける」をご覧ください。
(ジャケットが付属していないモデルをお使いの場合は、ジャケット(別売り)に付属の取扱説明書をご覧ください。)

メモ

●RAMモジュールの挿し方を間違えたり、推奨以外のRAMモジュールを取り付けたりすると、パソコンの電源を入れても画面に何も表示されない場合があります。その場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認して、正しく取り付け直してください。

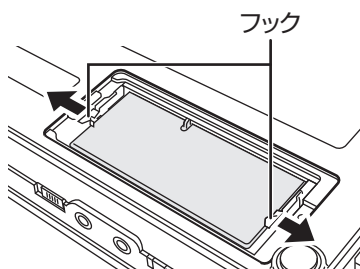
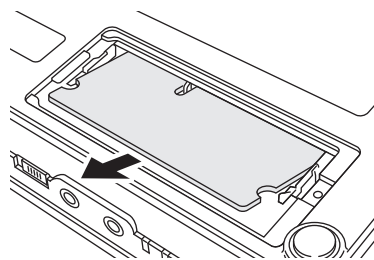
使用可能メモリーを確認する

増設した後の使用可能メモリーのサイズは、セットアップユーティリティの「情報」メニューの[使用可能メモリー](➡53ページ)で確認できます。

RAMモジュールの取り外し

「RAMモジュールの取り付け」の手順2～5の後、次の手順で取り外してください。

1 左右のフックを外側にゆっくりと広げる。

RAMモジュールが斜めに持ち上がります。

2 ゆっくりとスロットから取り外す。

3 カバー、バッテリーパック、ジャケット、ACアダプターを取り付ける。(➡48ページ「RAMモジュールの取り付け」の手順9～12)

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、本機の動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の6メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「起動」、「セキュリティ」、「終了」
モデルによって表示される項目が異なります。

セットアップユーティリティを起動する/終了する

起動する

1 パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

2 本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押す。

[Boot Mode]を[高速]に設定した場合、「Panasonic」起動画面は表示されません。F2 または Del を押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面が表示されるまで、F2 または Del を押したままにしてください。
[Boot Mode]の設定は、クイックブートマネージャーでも設定することができます。

3 パスワードを設定している場合は、下の画面が表示されるので、ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押す。

メモ

- F2 または Del を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。Windowsを終了して再起動してください。
- セットアップユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に表示することはできません。
  Fn + F3 を押して表示モードを切り替えると、外部ディスプレイまたは内部LCDのどちらかに表示されます。
  外部ディスプレイに正しく表示できない場合は、内部LCDに表示してください。
  セットアップユーティリティの画面など、Windowsが起動するまでは、⊞ + P を押して表示モードを切り替えることはできません。
- パスワードを設定していても[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合、パソコン起動時にパスワードの入力は不要です。
  また、[再起動時のパスワード]が[無効]になっている場合、パソコンの再起動時にパスワードの入力は不要です。
  セットアップユーティリティを起動したときは、パスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定時や入力時にテンキーモードまたはキャップスロックになっていると、その状態をお知らせする画面が表示されます。

終了する

1 ← → または Esc を押して、「終了」メニューを表示する。

2 [設定を保存して再起動]または[設定を保存しないで再起動]を選んで Enter を押す。

3 [はい]を選んで Enter を押す。

使ってみる

ユーザーパスワードで制限される項目

「起動する」(➡50ページ)の手順3で入力したパスワードの種類によって、表示/設定できる項目が異なります。

本機を複数の人で使う場合は、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を設定します。管理者以外の人には、ユーザーパスワードだけを教えておきます。これにより、設定を変更されるのを防ぐことができます。

● **スーパーバイザーパスワードを入力した場合**

セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

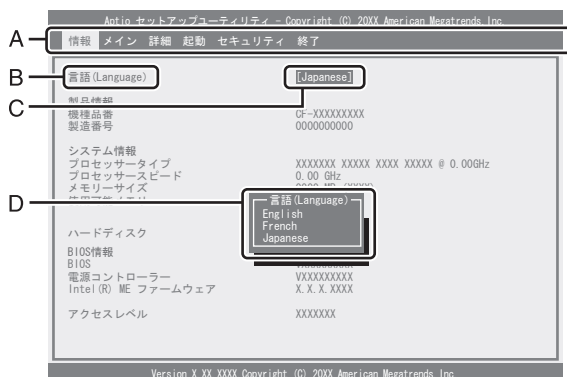
● **ユーザーパスワードを入力した場合**

次のような制限があります(可能:○、不可能:×)。また、各項目の設定値を工場出荷時の値(パスワード、システム時間、システム日付を除く)に戻す F9 は使えません。

メニュー	参照	変更
「詳細」メニュー	○	×
「起動」メニュー:[起動オプション]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[Setup Utility 表示]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[Boot Popup Menu]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[再起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[復帰時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[休止復帰時の起動デバイス]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[スーパーバイザーパスワード設定]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[ハードディスク保護]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[ユーザーパスワード保護]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[ユーザーパスワード設定]	○	○※1
「終了」メニュー:[デフォルト設定]	×	×
「終了」メニュー:[デバイスを指定して起動]	×※2	×※2

※1 [ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更が可能。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。

※2 [Boot Popup Menu]が[有効]に設定されている場合は選択が可能。

セットアップユーティリティを操作する

A. [←][→]を押してカーソルを移動させ、メニューを選ぶことができます。

B. 選択できる項目が複数ある場合は[↑][↓]を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。

C. 反転表示されている項目は[Enter]を押してサブメニューを表示させることができます。

D. サブメニューが表示されているときは[↑][↓]を押して項目を選ぶことができます。

設定に使うキー

[→][←]　：「情報」「メイン」「詳細」「起動」「セキュリティ」「終了」の各メニューを選択。

[↑][↓]　：カーソルを上下に移動（項目を選ぶときに使用）。

[Enter]　：[↑][↓]で項目を選んだ後に設定できる各項目のサブメニューを表示。

[F5]　：各項目の前候補を選択（設定値の変更時に使用）。

[F6]　：各項目の次候補を選択（設定値の変更時に使用）。

[F1]　：一般のヘルプを表示（[OK]を選ぶとヘルプの画面を閉じる）。

[F9]　：各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す。

[F10]　：設定を保存して再起動。

[Esc]　：サブメニューの終了、または「終了」メニューを表示。

「情報」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
言語（Language）	セットアップユーティリティの言語を選択します。	English French Japanese
製品情報 機種品番 製造番号 システム情報 プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー ハードディスク BIOS情報 BIOS 電源コントローラー Intel(R) ME ファームウェア アクセスレベル	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更したりすることはできません。	

「メイン」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
システム日付	Tab でカーソルを年、月、日に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6 で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx(x)]
システム時間	24時間制です。Tab でカーソルを時、分、秒に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6 で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]

メイン設定

メニュー	働き	選択項目
フラットパッド	ホイールパッドを使う（有効）/使わない（無効）を設定します。	無効 有効
Fn/左 Ctrlキー	内部キーボードの Fn と Ctrl（左側）の機能を入れ換えずに工場出荷時のまま使う（標準）/入れ換えて使う（入れ換え）を設定します。 Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティでも設定することができます。 [入れ換え]に設定した場合、Fn（「Ctrl」と印刷されている左側のキー）と Ctrl（右側）のキーを押しながらもう1つのキーを押す操作はできません。キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。	標準 入れ換え

メニュー	働き	選択項目
ディスプレイ	Windowsが起動するまでの表示モードを設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、[外部ディスプレイ]を選んでいても、すべての情報が内部LCDに表示されます。Windows起動後は、デスクトップの何もないところを右クリックして[グラフィック プロパティ]で設定した内容が有効になります。	外部ディスプレイ 内部LCD

メニュー	働き	選択項目
充電中バッテリー状態表示	バッテリーパックの充電中にバッテリー状態表示ランプを点灯する / 明滅するを設定します。	点灯 明滅
LED 輝度	電源状態表示ランプの明るさを設定します。[連動] では、内部 LCD の明るさに合わせてランプの明るさが変わります。[減光] では常に暗くなります。	連動 減光

「詳細」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
CPU 設定	CPU の設定に関するサブメニューを表示します。 • データ実行防止機能 データ実行防止機能 (プログラムのメモリー（バッファー) を悪用した不正プログラムの実行を阻止する機能) を使う (有効) / 使わない (無効) を設定します。 通常は [有効] に設定しておいてください。 工場出荷時の設定は [有効] です。 • Intel(R) Hyper-Threading Technology Intel(R) Hyper-Threading Technology を使用する (有効) / 使用しない (無効) を設定します。工場出荷時の設定は [有効] です。 • Core Multi-Processing Core Multi-Processing（複数のプロセッサーコアによる処理の分散）を使用する (有効) / 使用しない (無効) を設定します。工場出荷時の Windows 7 使用時は [有効] のままお使いください。[無効] に設定した場合の動作はサポートしていません。工場出荷時の設定は [有効] です。 • Intel(R) Virtualization Technology Intel(R) Virtualization Technology を使用する (有効) / 使用しない (無効) を設定します。[有効] に設定すると、Intel(R) Virtualization Technology に対応した仮想化ソフトウェアを使用する場合に、CPU の負荷を軽減することができます。工場出荷時の設定は [有効] です。 • Intel(R) VT-d Intel(R) Virtualization Technology for Direct I/O を使用しない (無効) / 使用する (有効) を設定します。工場出荷時の設定は [無効] です。(インテル® VT-d が使用できないモデルの場合は表示されません) • Intel(R) Turbo Boost Technology 2.0 Intel(R) Turbo Boost Technology 2.0 を使用する (有効) / 使用しない (無効) を設定します。(インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーが使用できないモデルの場合は表示されません) 工場出荷時の設定は [有効] です。 Esc を押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

周辺機器設定

メニュー	働き	選択項目
LAN	内蔵 LAN の機能を使用する (有効) / 使用しない (無効) を設定します。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
Power On by LAN機能	LAN経由でパソコンの電源を入れるPower On by LAN機能を使用しない（禁止）/使用する（許可）を設定します。 LAN経由で電源を入れた場合、起動時のパスワード入力画面は表示されなくなります。	禁止 許可
無線設定	搭載されている無線機能の設定に関するサブメニューを表示します。 • 無線LAN/WiMAX 内蔵無線LANおよびWiMAXの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

メニュー	働き	選択項目
SDスロット	SDメモリーカードスロットを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
USBポート	本機のUSBポートを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
レガシーUSB	Windowsが起動する前に、USBキーボードやUSBフロッピーディスクドライブ、USB CD/DVDドライブなどを本機に認識させる機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。[USBポート]が[有効]で「起動」メニューの[Boot Mode]が[通常]に設定されている場合のみ、効果があります。 [無効]に設定した場合でも、USBキーボードを使ってセットアップユーティリティを操作することができます。	無効 有効

「起動」メニュー

メニュー	働き	選択項目
Boot Mode	Boot Modeを高速にする（高速）/高速にしない（通常）/一部のUSB機器に対応するためBoot Modeを低速にする（互換）を設定します。[高速]に設定すると、パソコンの電源を入れた直後に表示される「Panasonic」起動画面を省略してWindowsの起動画面が表示されるまでの時間を短縮します。「Panasonic」起動画面が表示されませんので、セットアップユーティリティを起動する場合は、F2またはDelを押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面が表示されるまで、F2またはDelを押したままにしてください。 クイックブートマネージャーで設定することもできます。また、クイックブートマネージャーで電源オン時の初期化（Boot Mode）を高速にする設定を解除した場合や、すべての設定をクリアした場合は[通常]に戻ります。 USB機器から正しく起動できない場合は[互換]に設定して試してください。ただし、[互換]に設定すると、Windowsの起動画面が表示されるまでの時間は、[通常]に設定したときよりも長くなります。	高速 通常 互換

メニュー	働き	選択項目
起動オプション優先度	オペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。優先順位を変更する場合、まず設定したい優先順位を選択し、次に対象のデバイスを選択します。 例：ハードディスクから起動する場合 ① ↑↓で[起動オプション #1]を選択し、Enterを押す。 ② ↑↓で[ハードディスク]を選択し、Enterを押す。 同じ操作で他の起動オプションにもデバイスを設定することができます。[起動オプション #1]に設定されているデバイスが認識できない場合は、[起動オプション #2]に設定されているデバイスから起動します。	ハードディスク LAN USBフロッピー USBハードディスク USB光学ドライブ 無効

メモ

- USBフロッピーディスクドライブから起動する場合は、当社製外部FDD（品番:CF-VFDU03U）のご使用をお勧めします。
- 外付けのDVDドライブから起動するときなど、一度だけ通常と異なる優先順位で起動する場合は、「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の下に表示されているデバイスを選んでEnterを押してください。また、パソコン起動時にもデバイスを選択することができます（下記）。
- オペレーティングシステムを起動するデバイスは、次の手順でパソコン起動時にも選択することができます。
  あらかじめ「セキュリティ」メニューで[Boot Popup Menu]を[有効]に設定しておく必要があります。（➡下記）
  ①パソコンの電源を入れる。
  ②本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐにEscを押す。
  「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、Escを押したまま電源を入れてください。「起動するデバイスを選択してください」画面が表示されるまで、Escを押したままにしてください。
  ③「起動するデバイスを選択してください」画面でデバイスを選び、Enterを押す。
- USBポートに接続している機器から起動するときは、次の設定になっていることを確認してください。
  - 「詳細」メニューの[USBポート]が[有効]
  - 「詳細」メニューの[レガシーUSB]が[有効]
  - 「起動」メニューの[Boot Mode]が[通常]

「セキュリティ」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

起動時の表示設定

メニュー	働き	選択項目
Setup Utility 表示	起動後すぐに表示される「Panasonic」起動画面の下に[Press F2 for Setup/F12 for LAN]というメッセージを表示させる（有効）/表示させない（無効）を設定します。	無効 有効
Boot Popup Menu	起動後すぐにEscを押すと表示できる起動デバイスの選択画面を表示させない（無効）/表示させる（有効）を設定します。[有効]に設定すると、セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合でも「起動」メニューの[デバイスを指定して起動]の項目が選べるようになります。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
起動時のパスワード	パソコンの起動時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を常に必要としない（無効）/必要とする（有効）/[Intel(R) Anti-Theft Technology]を[アクティブ]に設定している場合のみ必要としない（自動）を設定します。	無効 有効 自動
再起動時のパスワード	Windowsを再起動したときにスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要としない（無効）/[起動時のパスワード]の設定と同じ動作にする（起動時に同じ）を設定します。	無効 起動時に同じ
復帰時のパスワード	スリープ状態/休止状態からの復帰時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を常に必要としない（無効）/必要とする（有効）/[Intel(R) Anti-Theft Technology]を[アクティブ]に設定している場合のみ必要としない（自動）を設定します。[起動時のパスワード]が[有効]または[自動]に設定されている場合のみ設定できます。	無効 有効 自動
休止復帰時の起動デバイス	休止状態からの復帰時の起動デバイスを内蔵ハードディスクのみとするか、内蔵ハードディスクよりも優先度の高いその他のデバイスからの起動を試行するかを設定します。	優先デバイスを試行 ハードディスクのみ

メニュー	働き	選択項目
スーパーバイザーパスワード設定	セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、本機を起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード]を[有効]に設定してください。	サブメニュー表示
ハードディスク保護	ハードディスクを別のパソコンに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないように保護する（有効）/保護しない（無効）を設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する（保護しない）/許可しない（保護する）を設定します。	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定	本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。また、セットアップユーティリティの起動時に、スーパーバイザーパスワードでなくユーザーパスワードを入力すると、一部の設定は変更できません。	サブメニュー表示

メニュー	働き	選択項目
Intel(R) Anti-Theft Technology	この項目は変更できません。 Intel(R) Anti-Theft Technology（インテル® アンチセフト・テクノロジー）はインテル®の盗難対策技術で、パソコンの盗難など万一のときにパソコンの電源を切って起動できないようにしたり、暗号化データへのアクセスに必要なキーデータを消去したりして、情報の流出を防ぐことができます。 インテル® アンチセフト・テクノロジーをお使いになる場合は、サービス事業者が提供する専用ソリューションが必要です。 使い方などについては、サービス事業者にお問い合わせください。	インアクティブ アクティブ 盗難 サスペンド
サスペンドモード遷移	Intel(R) Anti-Theft Technology（インテル® アンチセフト・テクノロジー）使用時、スリープ状態にしない（無効）/スリープ状態にする（有効）を設定します。 [Intel(R) Anti-Theft Technology]が[アクティブ]または[サスペンド]に設定されている場合のみ設定できます。	無効 有効

セットアップユーティリティでパスワードを設定する

セットアップユーティリティでパスワードを設定すると、セットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力が必要になります。また、[起動時のパスワード]を[有効]または[自動][※3]に設定しておくと、電源を入れた直後にパスワード入力が必要になるため、第三者の不正な利用を防ぐことができます。

設定する前に、必ず『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「パソコン起動時 / 再起動時 / リジューム時のパスワードを設定する」をご覧ください。

※3 [起動時のパスワード]を[自動]に設定して、Intel(R) Anti-Theft Technologyを使用している場合はパスワードの入力は不要です。
Intel(R) Anti-Theft Technologyを使用しているかどうかは、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューの [Intel(R) Anti-Theft Technology] をご覧ください。Intel(R) Anti-Theft Technology を使用している場合は、[アクティブ]が表示されています。

1 パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

2 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押してセットアップユーティリティを起動する。

「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、F2 または Del を押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面が表示されるまで、F2 または Del を押したままにしてください。

3 ← → で[セキュリティ]を選ぶ。

スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
↑ ↓ で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、Enter を押す。
ユーザーパスワードを設定する場合：
↑ ↓ で[ユーザーパスワード設定]を選び、Enter を押す。
- ユーザーパスワードを設定するには、まずスーパーバイザーパスワードを設定する必要があります。

4 [新しいパスワードを入力してください]の[　　　　　]の中に新しいパスワードを入力し、Enter を押す。

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- キーボードがテンキーモードまたはキャップスロックになっていると、パスワードの設定時や入力時に右のような「【重要】お知らせ」画面が表示されます。

```
【重要】お知らせ
Caps Lock : オン
Num Lock  : オン
```

- パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号、スペースで最大32文字です。英字の大文字と小文字は区別されます。
  - 「¥」など、パスワードに使えない記号キーがあります。使えない記号キーを押してもパスワードには入力されません。
  - 数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
  - 「【重要】お知らせ」画面が表示され「Caps Lock：オン」と表示されていると（Caps Lockランプが点灯）、パスワードが大文字で設定されます。
    また、「Num Lock：オン」と表示されていると（NumLockランプが点灯）、キーボードの一部がテンキーになり、数字または演算記号が設定されます。
    キーボードのテンキーモードおよびキャップスロックの状態を確認してから、パスワードを入力してください。確認せずに入力すると設定したいパスワードと異なるパスワードが設定されてしまうおそれがあります。
- Ctrl などのキーと組み合わせて入力することはできません。

5 [新しいパスワードを確認してください]の[　　　　　]の中に手順4で入力したパスワードを再度入力し、Enter を押す。

6 F10 を押し、[はい]を選んで Enter を押す。

重 要

パスワードは忘れないようにしてください。

- **お客さまが設定されたパスワードなど、セキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。**
  パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。
- **スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合**
  有償での修理が必要になります。修理窓口へお問い合わせください。お持ち込みいただき、数日間お預かりさせていただくことになります。セットアップユーティリティの設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、ハードディスク保護を有効に設定している場合、修理でも無効にできませんので、パスワードは絶対に忘れないようにご注意ください。
- **ユーザーパスワードを忘れてしまった場合**
  セットアップユーティリティを起動してパスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力すると、ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
  スーパーバイザーパスワードを知らない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した人にご相談ください。
- **本機の修理を依頼される場合**
  スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を無効にしておいてください。

ハードディスク保護を設定する

セットアップユーティリティのパスワードを設定しておくと、パスワードを知らない第三者がパソコンを使うことはできなくなりますが、パソコンを分解し、内蔵のハードディスクを取り外して他のパソコンに取り付けると、ハードディスク内に保存されている情報が読まれてしまうおそれがあります。

ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。

1 セットアップユーティリティを起動する。（➡58ページ手順1と2）

パスワードの入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は、次の手順2で設定してください。

2 [←][→]で[セキュリティ]を選ぶ。

スーパーバイザーパスワードを設定する場合：

① [↑][↓]で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、[Enter]を押す。
② [新しいパスワードを入力してください]の[　　　　]の中に新しいパスワードを入力し、[Enter]を押す。
③ [新しいパスワードを確認してください]の[　　　　]の中に手順②で入力したパスワードを再度入力し、[Enter]を押す。

3 [↑][↓]で[ハードディスク保護]を選び、[Enter]を押す。

4 [↑][↓]で[有効]を選び、[Enter]を押す。

5 確認の画面で[Enter]を押す。

6 [F10]を押し、[はい]を選んで[Enter]を押す。

起動時に「ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています」と表示された場合は、セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定し直してください。

「終了」メニュー

メニュー	働き
設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動します。
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存しないで再起動します。

保存オプション

メニュー	働き
設定を保存する	設定内容を保存します。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。

メニュー	働き
デフォルト設定	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。

メニュー	働き
デバイスを指定して起動	OSを起動させるデバイスを指定します。次回起動時のみ選択したデバイスから起動します。 グレー表示になって選べない場合は、F10を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。

メニュー	働き
コンピューターの修復	再インストールを実行するか、ハードディスクの内容を消去するかを選択する画面が表示されます。 ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行したときは表示されません。 グレー表示になって選べない場合は、F10を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。
診断ユーティリティ	PC-Diagnosticユーティリティを起動し、ハードウェアの診断を行います。（➡74ページ） グレー表示になって選べない場合は、F10を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。

パーティションを変更する

パーティションとは

ハードディスク上に作成した領域（区画）のことです。
1つのハードディスクに複数のパーティションを作成することで、1つのハードディスクを複数のディスクのように扱うことができます。
工場出荷時、変更可能な本機のパーティションは1つです（修復用領域（リカバリー領域とシステム領域から構成されています）は変更することができません）。

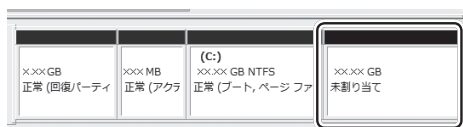
1 （スタート）をクリックし、[コンピューター]を右クリックする。

2 [管理]をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[はい]をクリックします。

3 [ディスクの管理]をクリックする。

4 Windowsが使用しているパーティション（工場出荷時はCドライブ）を右クリックし、[ボリュームの縮小]をクリックする。
下記は表示例です。パーティションのサイズなどはモデルによって異なります。

5 [縮小する領域のサイズ]を入力し、[縮小]をクリックする。
ハードディスクの一部の領域を縮小することで、その中に複数のパーティションを作成することができます。
画面に表示されているサイズよりも大きなサイズには指定できません。また、40GB以下に縮小すると、そのドライブにOSを再インストールすることができなくなります。

6 [未割り当て]領域を右クリックし、[新しいシンプルボリューム]をクリックする。
[未割り当て]領域は手順5で縮小した領域です。入力した数値より、少なくなります。

7 「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」画面が表示されたら[次へ]をクリックする。
次の設定を行ってください。
②と③の設定を表示以外に変更する場合は専門的な知識が必要です。通常は表示されたままで[次へ]をクリックしてください。

① シンプルボリュームサイズの指定
作成するパーティションのサイズを指定します。[未割り当て]領域をすべて使用する場合は、表示されたサイズのまま[次へ]をクリックしてください。
表示されたサイズより少ない数値を入力した場合、残りのサイズは[未割り当て]領域として残ります。

② ドライブ文字またはパスの割り当て

③ パーティションのフォーマット

8 [完了]をクリックする。
新しいパーティションのフォーマットが開始します。（手順7の③で「このボリュームを次の設定でフォーマットする」を選択した場合）
画面にフォーマットの進行が表示されますので、終了するまでお待ちください。

● **パーティションを追加するには**
[未割り当て]領域が残っている場合は手順6から、Windowsの領域にまだ余裕がある場合は手順4からの操作を行うことで、新しいパーティションを追加できます。

● **パーティションを削除するには**
手順4の画面で削除するパーティションを右クリックし、[ボリュームの削除]をクリックしてください。

このパソコンにトラブルがあったときは

問題の解決方法

こんなとき / **確認する/ここで調べる**

画面に黒い点や、色の付いている点がある → 故障ではありません（➡73ページ）

画面が暗い → Fn + F2 を押す（➡29ページ）

仕様がわからない
- 使えるRAMモジュールは？
- 付属のアプリケーションは？

→ 「仕様」（➡91ページ）

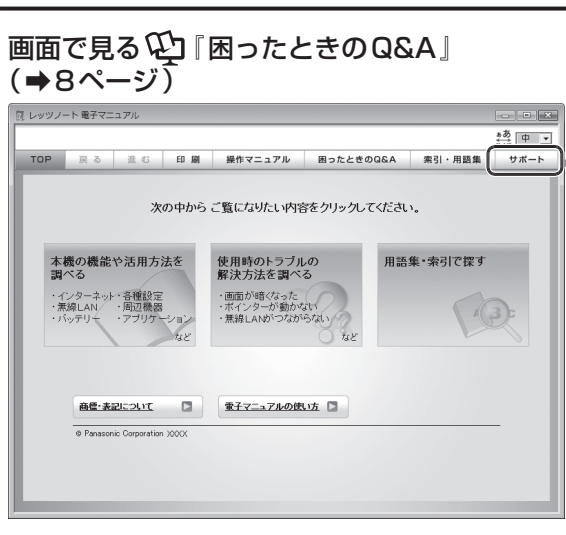
駆動時間が短い → 使用環境によって異なります（➡40ページ）

電源が入らない/電源は入るがWindows画面が出ない → 本書の「困ったとき」（➡64、65ページ）

Windowsの操作がわからない → 『取扱説明書 Windows® 7入門ガイド』
付属していない場合があります。

Windows画面は出ているが、操作できない
- キーボード
- ホイールパッド
- インターネット
- 無線 LAN　など

周辺機器が動かない

→ 画面で見る 『困ったときのQ&A』（➡8ページ）

ご購入時に導入済みのアプリケーションソフトの場合

アプリケーションソフトが動かない/おかしい

その他のソフトの場合

さらに調べるとき / 修復するとき

解決しないとき

修理に関するお問い合わせ

1. 付属の『修理依頼書』に記入する。
2. 付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』で修理に関する詳しい情報を確認し、修理窓口へ連絡する。

「ハードウェアを診断する」
(➡74ページ)

「再インストールする」
(➡79ページ)

パナソニックパソコンお客様ご相談センター　365日 受付9時~20時

電　話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　0120-873029（パナソニック）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は「186-0120-873029」におかけください（はじめに「186」をダイヤル）。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は
(06)6905-5067

FAX　(06)6905-5079

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

（2011年8月1日現在）

弊社のWebページの
「よくある質問（FAQ）」
http://askpc.panasonic.co.jp

周辺機器のWebページや説明書

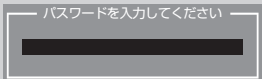
周辺機器の相談センターへ

アプリケーションソフトのWebページや説明書

「アプリケーションソフトの問い合わせ先」
(➡88ページ)

アプリケーションソフトの相談センターへ

起動 / 終了 / スリープ状態 / 休止状態のQ&A

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合は、64 ～ 89ページで解決方法を確認してください。
解決方法が見当たらない場合は、デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックして 『困ったときのQ&A』も確認してください。

質　問	対　策
本機が起動しない / バッテリー状態表示ランプ が点灯しない	**ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが正しく取り付けられているか確認してください。** ➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』
	バッテリーパックがしっかりと固定されていることを確認してください。
	RAMモジュールを増設または交換した場合、RAMモジュールを取り外して再度電源を入れてください。 RAMモジュールを外すと電源が入る場合は、RAMモジュールの問題が考えられます。 ●パソコンの電源を切り、推奨のRAMモジュールであることを確認し、正しく取り付け直してください。 ●RAMモジュールの仕様を確認してください。 RAMモジュールについては、「メモリー容量を増やす」(➡47ページ)または「仕様」(➡91ページ)をご覧ください。
	しばらくしてから再度電源を入れてください。 CPUの温度が上がっている可能性があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
	電源コードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。 ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。電源コードを接続し直してもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
SD/SDHC/SDXCメモリーカードをセットしたままWindowsを起動すると、チェックディスク(CHKDSK)が始まる	**チェックディスクが終了するまでそのままお待ちください。** SD/SDHC/SDXCメモリーカードへの書き込み中に、カードを取り出した可能性があります。 ➡ 『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「SD/SDHC/SDXCメモリーカードを使う」

質　問	対　策
電源は入るがWindowsが正常に起動しない	**電源状態表示ランプ が点灯している場合** ハードディスクアクセスランプ が点灯していないなど、ハードディスクにアクセスしていないことをご確認のうえ、電源スイッチを４秒以上スライドして電源を切ってください。その後、再度電源を入れてください。
	お買い上げ後初めて電源を入れた場合 Windowsのセットアップ画面が表示されず、「コンピューターが予期せず再起動されたか、予期しないエラーが発生しました」というようなメッセージが表示される場合があります。これは、Windowsのセットアップが始まるまでにパソコンの電源が強制的に切れた場合（ACアダプターを抜いたり、ACアダプターを接続せずにセットアップしてバッテリー残量がなくなったりした場合）に表示されるメッセージで、再インストールを行うまでWindowsが使えなくなります。この場合は、再インストールをしてください。
	休止状態からのリジューム時にWindowsが起動しなくなった場合 リカバリーディスクを使って「システム回復オプション」を起動し、[スタートアップ修復]を実行してください（➡78ページ）。 それでもWindowsが起動しない場合は、リカバリーディスクを使って再インストールしてください。
	セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。 （➡52ページ）
	USBメモリーなど、周辺機器を取り外してください。 周辺機器を取り外すと起動できた場合は、周辺機器の問題が考えられます。周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、セーフモードで起動し、エラーの内容を確認してください。 ① パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に F8 を押し続ける。 ②「詳細ブートオプション」が表示されたら指を離す。 ③ ↑ ↓ で[セーフモード]を選ぶ。 ④ Enter を押す。以降は、画面に従って操作してください。
Windows起動時に音が途切れる	**Windowsの処理状況によっては、Windows起動時に音が途切れる場合があります。** 次の手順で起動時の音が鳴らないように設定することができます。 ① デスクトップで右クリックし、[個人設定]をクリックする。 ② [サウンド]をクリックし、[Windows スタートアップのサウンドを再生する]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックする。
Windows 7（64ビット）とWindows 7（32ビット）を切り替えたい	**Windows 7（64ビット）とWindows 7（32ビット）を切り替える場合（例えば、Windows 7（64ビット）がインストールされているハードディスクにWindows 7（32ビット）をインストールする場合）は、次の方法があります。** • ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使ってWindowsを再インストールする。 • インストールするOSと同じOSのリカバリーディスクを使ってWindowsを再インストールする。 同じOSのリカバリーディスクがない場合は、他のOSのリカバリーディスクを使って再インストールした後、リカバリー領域のデータを使って再インストールしてください。

起動 / 終了 / スリープ状態 / 休止状態の Q&A

質　問	対　策
ユーザー名を変更したらログオンできなくなった	**変更前のユーザー名でログオンしてみてください。** ユーザー名は「名前」と「フルネーム」という 2 種類の名前で管理されています。
フロッピーディスクから起動できない	**ご使用のフロッピーディスクドライブによっては、正常に起動しない場合があります。** フロッピーディスクドライブからの起動は、当社製外部 FDD（品番：CF-VFDU03U）で動作を確認しています。
	パソコンの電源を切り、外部 FDD を接続し直してください。
	起動用ディスクが正しくセットされているか確認してください。
	セットアップユーティリティを起動し、次の設定になっていることを確認してください。 •「詳細」メニューの [USB ポート] が [有効] •「詳細」メニューの [レガシー USB] が [有効] •「起動」メニューの [Boot Mode] が [通常] •「起動」メニューで [起動オプション #1] が [USB フロッピー] 次回起動時のみ、フロッピーディスクから起動する場合は、「終了」メニューで [デバイスを指定して起動] の下に表示されているフロッピーディスクドライブのデバイス名（例：[MATSHITAFDD XXXXX]）を選び、Enter を押してください。 [Boot Mode] は、クイックブートマネージャーでも設定できます。かんたん高速起動設定モードを無効にするか高速起動詳細設定ウィザードモードで [電源オン時の初期化（Boot Mode）] を無効にしてください。
Windows の起動や動作が遅い	**メモリー容量を増やしてください。**
	お買い上げ後にインストールした常駐アプリケーションソフトがある場合は、そのアプリケーションソフトの常駐を解除してください。
	ハードディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は、ディスクデフラグツールを実行してください。
	起動が遅い場合は、次の方法をお試しください。 ●クイックブートマネージャーを使って、電源を入れてから Windows が起動するまでの時間を短縮する。 ハードディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は、ブートトレーニングを実行することで起動が早くなる場合があります。 ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「Windows が起動するまでの時間を短くする」 ●セットアップユーティリティの「起動」メニューで [Boot Mode] を [高速] に設定する。（クイックブートマネージャーでも設定することができます） ただし、[高速] に設定すると、パソコンの電源を入れた直後に表示される「Panasonic」起動画面が表示されなくなります。 • セットアップユーティリティを起動する場合は、F2 または Del を押したまま電源を入れてください。 • PC-Diagnostic ユーティリティを起動する場合は、セットアップユーティリティの「終了」メニューの [診断ユーティリティ] を選んでください。 また、次の操作ができなくなります。 • USB ポートに接続している USB 機器からの起動 /LAN 経由での起動 • 外付けキーボードでのセットアップユーティリティの操作およびスーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードの入力
	なお、Windows の動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。

質　問	対　策
「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された	**システムを起動できないフロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていないか確認してください。** セットされている場合は、取り出してから何かキーを押してください。
	USB機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシー USB]を[無効]に設定してください。 セットアップユーティリティの起動方法：➡50ページ
	設定しても同じメッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることがあります。 ●再インストールを行い、ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻してください。（➡79ページ）
スリープ状態/休止状態からリジューム（復帰）しない	**次のような場合は、電源スイッチをスライドして電源を入れてください。なお、保存していないデータは失われます。** • スリープ状態のとき、ACアダプターおよびバッテリーパックを取り外した。 • 周辺機器の取り付け/取り外しを行った。 • 電源スイッチを４秒以上スライドして強制終了した。
	ACアダプターを接続し、リジュームしてください。 バッテリーの残量が少ない、または完全に放電している可能性があります。
電源が切れない（Windowsが終了しない）	**周辺機器を取り外してからWindowsを終了してください。** 周辺機器を取り外すと終了できた場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。 アプリケーションソフトをインストールした後で電源が切れなくなった場合は、（スタート）-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]をクリックし、ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。 削除すると終了できた場合は、アプリケーションソフトの問題が考えられます。ソフトのメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。 ① 外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。 ② （スタート）-[コンピューター]をクリックし、[ローカルディスク（C:）]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。 ③ [ツール]をクリックして、[チェックする]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[はい]をクリックします。 ④ [チェックディスクのオプション]で[ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクターをスキャンし、回復する]にチェックマークを付け、[開始]をクリックする。 ⑤「次回コンピューター起動時にハードディスクのエラーを検査しますか？」というメッセージが表示された場合は、[ディスク検査のスケジュール]をクリックする。 ⑥ Windowsを再起動する。 チェックディスクにかかる時間は、ドライブの容量やファイルの内容、[チェックディスクのオプション]の設定により異なります。 チェックディスクを行っても解決できない場合は、再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。 （➡79ページ）

パスワード/メッセージのQ&A

質　問	対　策
パスワードを入力しても再度入力を求められる	**①ランプが点灯している場合は、NumLkを押してテンキーモードを解除してから入力してください。** セットアップユーティリティのパスワードを入力する場合、テンキーモードになっていると、その状態をお知らせする「【重要】お知らせ」画面が表示されます。
	Ⓐランプが点灯している場合は、Shiftを押しながらCaps Lockを押してキャップスロックを解除してから入力してください。 セットアップユーティリティのパスワードを入力する場合、キャップスロックになっていると、その状態をお知らせする「【重要】お知らせ」画面が表示されます。
キーを押しても文字が入力されない	**Fnキーがロックされている場合があります。Fnを1回押してロックを解除してから入力してください。**
「パスワードを入力してください」が 表示された パスワードを入力してください	**スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。** スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合は有償での修理が必要となります。ご相談窓口にご相談ください。 ユーザーパスワードを忘れてしまった場合は、セットアップユーティリティを起動して、パスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力してください。 ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
パスワードの入力画面が表示されない	**スリープ状態/休止状態からリジュームしたときにパスワードの入力画面を表示させるには、次の設定を行ってください。** ●セットアップユーティリティのパスワードの入力画面を表示するには セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、[復帰時のパスワード]を[有効]または[自動]に設定します。 ●Windowsパスワードの入力画面を表示するには (工場出荷時は、Windows パスワードが設定されていれば表示される設定になっています)。 ① (スタート)-[コントロールパネル]をクリックする。 すでにWindowsパスワードが作成されている場合は、手順⑦に進んでください。 ② [ユーザーアカウントと家族のための安全設定]をクリックする。 ③ [Windows パスワードの変更]をクリックする。 ④ [アカウントのパスワードの作成]をクリックする。 ⑤ パスワードを設定し、[パスワードの作成]をクリックする。 ⑥ (スタート)-[コントロールパネル]をクリックする。 ⑦ [システムとセキュリティ]をクリックする。 ⑧ [バッテリ設定の変更]をクリックする。 ⑨ [スリープ解除時のパスワード保護]をクリックする。 ⑩ [現在利用可能ではない設定を変更します]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力して[はい]をクリックします。 ⑪ [パスワードを必要とする]をクリックし、[変更の保存]をクリックする。

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td>ACアダプターを接続している場合でも「ACアダプターを接続してください」などのメッセージが表示される</td><td>ピークシフト制御が有効に設定されているため、バッテリー駆動に切り替わっている可能性があります。メッセージを表示しないようにするには、次の操作でピークシフト制御を無効に設定してください。
• Windowsが起動する場合：
「ピークシフト制御ユーティリティ」画面で[ピークシフト制御を有効にする]をクリックしてチェックマークを外してください。
• Windowsが起動できない場合やすでにピークシフト制御が無効に設定されている場合：
パソコンの電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取り外し、取り付け直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを忘れた</td><td>他の管理者のユーザーアカウントでログオンし、忘れてしまったパスワードを削除してください。
① (スタート)-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウントの追加または削除]をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
② パスワードを忘れてしまった管理者のユーザーアカウントをクリックし、[パスワードの削除]をクリックして[パスワードの削除]をクリックする。
他に管理者のユーザーアカウントを作成していない場合は、再インストールして、ハードディスクを工場出荷時の状態に戻す必要があります。ただし、再インストールをすると、作成したデータやインストールしたアプリケーションソフト、メールの履歴などはすべて消去されます。</td></tr>
<tr><td>パスワードリセットディスクを作成していた場合、パスワード入力失敗後に表示される[パスワードのリセット]をクリックし、表示されるメッセージに従って、パスワードを再設定することができます。
パスワードリセットディスクで解除できるのは、各ユーザーアカウントのWindows パスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。セットアップユーティリティのパスワードは忘れないように注意してください。
パスワードリセットディスクを作成するには、次の手順をご覧ください。
① (スタート)-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]をクリックし、[ユーザーアカウント]をクリックする。
② [パスワードリセットディスクの作成]をクリックする。
以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Windowsが起動せず、数字またはメッセージが表示された</td><td>システムの起動エラーです。「エラーコードが表示されたら」(➡87ページ)の内容に従って操作してください。</td></tr>
<tr><td>「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された場合は、67ページをご覧ください。</td></tr>
</table>

バッテリーのQ&A

質　問	対　策
カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短い	**バッテリーの駆動時間は、バッテリーのエコノミーモード（ECO）の有効 / 無効や、使用環境、設定されている電源プランによって異なります（➡40ページ）。**
バッテリーパックの交換時期（寿命）を知りたい	**バッテリーパックを正しく充電してもバッテリーの駆動時間が著しく短い場合は、バッテリーパックの寿命と考えられます。新しいバッテリーパックと交換することをお勧めします。** PC情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、バッテリーパックの状態が定期的に確認され、お知らせする情報がある場合は画面右下に[バッテリーに関するお知らせがX件あります]という小ポップアップ画面が表示されます。 小ポップアップ画面をクリックしてバッテリーに関する情報（バッテリー残量表示補正およびバッテリーの消耗 / 交換時期）を確認することができます（➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」）。
バッテリーが充電されない	**ピークシフト制御が有効に設定されているため、バッテリー駆動に切り替わっている可能性があります。充電するには、次の操作でピークシフト制御を無効に設定してください。** • Windowsが起動する場合： 「ピークシフト制御ユーティリティ」画面で[ピークシフト制御を有効にする]をクリックしてチェックマークを外してください。 • Windowsが起動できない場合やすでにピークシフト制御が無効に設定されている場合： パソコンの電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取り外し、取り付け直してください。
バッテリー状態表示ランプ が赤色に点灯している	**バッテリーの残量が少なくなっています（残量約9%以下）。** ACアダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。ACアダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、Windowsを終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
バッテリー状態表示ランプ が点滅している	**赤色に点滅している場合** すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックとACアダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
	オレンジ色に点滅している場合 次のどちらかの状態が考えられます。 ●バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。 ●アプリケーションソフトや周辺機器（USB機器など）が多くの電力を消費し電力不足になっているため、充電できない状態です。起動しているアプリケーションソフトを終了し、周辺機器を取り外します。電力不足が解消されれば自動的に充電が始まります。
「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」画面が表示された	**バッテリー残量表示補正を実行した後、「Windowsを終了します」という画面で[いいえ]をクリックした可能性があります。[いいえ]をクリックするとWindowsの終了処理が中止され、次回起動時に再びバッテリー残量表示補正が始まります。** ●Windowsを起動するには、電源スイッチをスライドして電源を切り、もう一度電源を入れてください。

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
ホイールパッド使用時ポインターが動かない	**セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]が[有効]に設定されているか確認してください。**
	(スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]-[デバイス設定]をクリックすると表示される画面で、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]にチェックマークを付けている場合、USBマウスを接続するとホイールパッドが無効になります。 • ホイールパッドをお使いになる場合は、USBマウスを取り外してください。 • USBマウスを接続してもホイールパッドが無効にならないように設定する場合は、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]をクリックしてチェックマークを外して[OK]をクリックしてください。
ポインターが勝手に動く	**ホイールパッドに触れたときの感度を調節してください。** 「ホイールパッドを使う」をご覧ください。➡32ページ
マウス接続時ポインターが動かない	**マウスが正しく接続されているか確認してください。**
	接続したマウスのドライバーをインストールしてください。 外部マウスのドライバーをインストールすると、ホイールパッドが使えないことがあります。 詳しくは、『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「外部マウスを使う」をご覧ください。
	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]を[無効]に設定してください。
	お使いのマウスのメーカーにお問い合わせください。 不具合などが修正された最新のドライバーがマウスのメーカーから配布されている場合があります。
画面が乱れる	**本機を再起動してください。** 解像度/色数を変更したり、本機の動作中に外部ディスプレイの取り付け/取り外しを行ったりすると、画面が乱れることがあります。
	内部LCDのリフレッシュレートが40ヘルツになっている可能性があります。次の方法でリフレッシュレートを変更してください。 ① デスクトップの何もないところを右クリックし、[グラフィック プロパティ]をクリックする。 アプリケーションモードを選ぶ画面が表示された場合は、モードをクリックして[OK]をクリックしてください。 詳細な設定を行わない場合は、[基本モード]を選んでください。 ② [マルチディスプレイ]をクリックし、[動作モード]で[クローンディスプレイ]をクリックする。 [クローンディスプレイ]が表示されていない場合は、外部ディスプレイを接続してください。 ③ [一般設定]をクリックする。 ④ [ディスプレイ]を[内蔵ディスプレイ]に設定し、[リフレッシュレート]が[40Hz]になっている場合は、[60Hz]に変更し、[OK]をクリックする。 ⑤ 確認の画面で[OK]をクリックする。

困ったとき

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
一瞬真っ黒になる	**ログオンやログオフ、ユーザーの簡易切り替えを使用したとき、画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。**
	ユーザーアカウント制御を設定している場合、（シールド）が表示されている操作を行うと「ユーザーアカウント制御」画面が表示され、この画面以外の部分が暗くなります。 管理者のユーザーアカウントでログオンしている場合は、[はい]をクリックしてください。 標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力し、[はい]をクリックしてください。
	電源プラン拡張ユーティリティの[画面の省電力機能]を有効に設定しているときに、次のような操作や設定を行うと画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。 • Fn＋F1/Fn＋F2で画面の明るさを調整する。 • ACアダプターを抜き挿しする。 • ピークシフト制御ユーティリティでピークシフト制御を有効にし、[電源プランと連動する]にチェックマークを付ける。 動画再生ソフトやグラフィックのベンチマークソフトなどをお使いで、エラー画面が表示されたりソフトが正しく動作しなくなったりした場合は、電源プラン拡張ユーティリティの[画面の省電力機能]を無効に設定したり、ピークシフト制御ユーティリティで[電源プランと連動する]のチェックマークを外したりしてください。 ➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「利用シーンに合った電源設定をする（電源プランの設定）」
何も表示されない	**電源状態表示ランプ⏻が点灯している場合は、ディスプレイの電源が切れています。** CtrlやShiftなど動作に影響のないキーを押してください。選択に使うキー（Enter、（スペースキー）、Esc、Y、Nや数字キーなど）は使わないでください。 ディスプレイの電源が切れないようにするには、「スリープ状態/休止状態に移行するまでの時間を変更/無効にする」（➡41ページ）をご覧になり、[ディスプレイの電源を切る]を[なし]に設定してください。
	画面の表示モードが内部LCD以外に設定されている可能性があります。 Fn＋F3または⊞＋Pを押して表示モードを切り替えてください。 Fn＋F3または⊞＋Pを続けて押す場合は、画面の表示モードが完全に切り替わったことを確認してから押してください。
	画面が暗くなっている可能性があります。 Fn＋F2を押して画面を明るくしてください。（➡29ページ）
	電源状態表示ランプ⏻が点滅または消灯している場合は、スリープ状態または休止状態になっています。 電源スイッチをスライドしてください。
	RAMモジュールを増設または交換した場合は、RAMモジュールが正しく取り付けられていません。 電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認し、正しく取り付け直してください。それでも画面に何も表示されない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

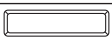
質　問	対　策
マウス接続時ホイールパッドを無効にする	(スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]-[デバイス設定]をクリックすると表示される画面で、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]をクリックしてチェックマークを付けて[OK]をクリックしてください。(➡33ページ)
明るさが変わった(暗くなった/明るくなった)	**Fn キーを使うことで、明るさを変更できます。** Fn + F1 :画面が暗くなります。 Fn + F2 :画面が明るくなります。 ➡29ページ
緑、赤、青のドットが残ったり、正しい色が表示されない/画面の色や明るさにむらが見える	**これらは故障ではありません。** • 本機に搭載のカラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯(赤、青、緑色)するものがあります。(有効画素:99.998 %以上、画素欠けなど:0.002 %以下) • 液晶ディスプレイの構造上の特性により、見る角度によって色や明るさにむらが見える場合があります。また、画面の色合いは製品によって異なる場合があります。
残像が表示される	**別の画面を表示してください。** 同じ画面を長時間表示させていると残像になることがあります。

困ったとき

リカバリーディスク(プロダクトリカバリー DVD-ROM)のQ&A

リカバリーディスクまたはプロダクトリカバリー DVD-ROMが付属していない	**プロダクトリカバリー DVD-ROMが付属しているかどうかは、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「1 付属品の確認」で確認してください。** •「リカバリーディスク(プロダクトリカバリー DVD-ROM)」が記載されていない場合: プロダクトリカバリー DVD-ROMは付属していません。リカバリーディスク作成ユーティリティを使って、リカバリーディスクを作成してください。(➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』「6 リカバリーディスクを作成する」) •「リカバリーディスク(プロダクトリカバリー DVD-ROM)」が記載されている場合: プロダクトリカバリー DVD-ROMが付属しています。本書などでは、付属のプロダクトリカバリー DVD-ROMを「リカバリーディスク」と表記します。
リカバリーディスクの作成方法がわからない	**• リカバリーディスク(プロダクトリカバリー DVD-ROM)が付属していない場合:** **付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』「6 リカバリーディスクを作成する」をご覧ください。** **• リカバリーディスク(プロダクトリカバリー DVD-ROM)が付属している場合:** **リカバリーディスクを作成する必要はありません。付属のプロダクトリカバリー DVD-ROMをお使いください。**

ハードウェアを診断する

本機に搭載されているハードウェアが正しく動作しない場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。
ハードウェアに異常が見つかったときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。詳しくは、「保証とアフターサービス」(➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』)をご覧ください。

PC-Diagnosticユーティリティで診断するハードウェア

診断するハードウェア	PC-Diagnosticユーティリティの表示
CPU	CPU/System
メモリー	RAM xxxx MB
ハードディスク	HDD xxx GB
ビデオコントローラー	Video
サウンド	Sound
LAN	LAN
無線LAN/WiMAX	Wireless LAN
USB2.0ポート	USB
SDカードコントローラー	SD
内部キーボード	Keyboard
ホイールパッド	Touch Pad

- Video診断中に画面が乱れたり、Sound診断中にスピーカーから音が出ることがありますが、これらは異常ではありません。Sound診断中は、大きなビープ音が鳴りますので、ヘッドホンを装着しないでください。（Windowsでミュートに設定している場合、音は鳴りません。）
- ソフトウェアは診断できません。
- 本体左側のUSB3.0ポートは診断することができません。

操作のしかた

ホイールパッドで操作することをお勧めします。ホイールパッドで操作しないときは、代わりに内部キーボードで操作することもできます。

操作	ホイールパッドの操作	内部キーボードの操作
アイコンを選ぶ	ポインターをアイコンの上に合わせる	[ ](スペースキー)を押してから[→][←][↑][↓]を押す（画面右上の[close]は選べません。）
アイコンをクリックする	タップまたはクリックする（右クリックは使えません。）	アイコン上で[ ](スペースキー)を押す
PC-Diagnosticユーティリティを終了してパソコンを再起動する	画面右上の[close]をクリックする	[Ctrl]+[Alt]+[Del]を押す

ホイールパッドが正しく動作しない場合は、[Ctrl]+[Alt]+[Del]を押してパソコンを再起動するか、電源スイッチをスライドして電源を切った後に、再度PC-Diagnosticユーティリティを起動してください。

診断する

セットアップユーティリティを工場出荷時の状態にして実行します。セットアップユーティリティなどで使用できないように設定されている場合は、ハードウェアのアイコンがグレー表示になります。

1 周辺機器を取り外す。

2 ACアダプターを接続する。

診断中は、ACアダプターの抜き挿しや周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。

3 パソコンの電源を入れる。

電源が入っている場合は、（スタート）-[シャットダウン]をクリックしてパソコンの電源を切り、再度電源を入れてください。

4 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。

- 「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、F2またはDelを押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面またはパスワード入力画面が表示されるまで、F2またはDelを押したままにしてください。
- お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをお勧めします。
- 以降の手順でパスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードを入力し、Enterを押してください。

5 F9を押す。

確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。

6 F10を押す。

確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。

7 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。

8 ←と→を使って「終了」メニューに移動する。

9 ↑と↓を使って[診断ユーティリティ]を選びEnterを押す。

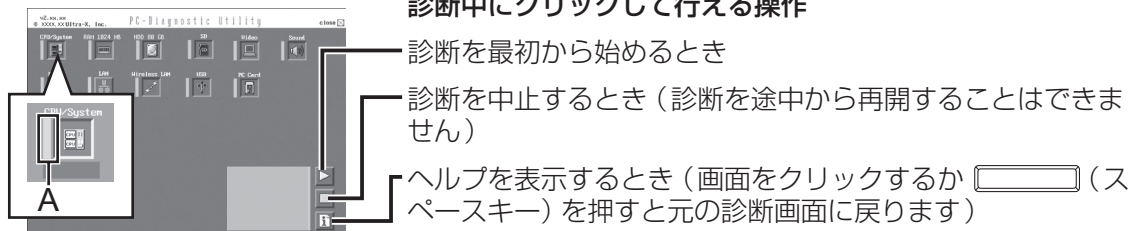
PC-Diagnosticユーティリティが起動し、自動的にすべてのハードウェアの診断が始まります。（画面は英語です。）

アイコンの左側（A）に青色と黄色が交互に表示され始めるまでは、ホイールパッドまたは内部キーボードが使えません。

診断中にクリックして行える操作

診断を最初から始めるとき

診断を中止するとき（診断を途中から再開することはできません）

ヘルプを表示するとき（画面をクリックするか（スペースキー）を押すと元の診断画面に戻ります）

- ハードウェアのアイコンの左側（A）の表示色で診断状況が確認できます。
  - 水色：診断していない状態
  - 青色と黄色が交互に表示：診断中。診断内容によって表示の間隔は異なります。RAM診断中は、表示が長時間止まることがありますが、そのままお待ちください。
  - 緑色：正常と診断
  - 赤色：異常と診断
- 気温が高い場所でお使いの場合、表示される診断時間よりも長くかかる場合があります。

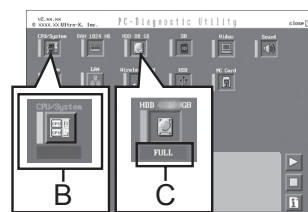
ハードウェアを診断する

メ モ

●次の手順で、特定のハードウェアのみを診断することができます。

① ■ をクリックして診断を中止する。

② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックしてグレー表示（B）にする。
ハードディスク、キーボード、ホイールパッドの場合は、クリックすると拡張診断（アイコンの下（C）に「FULL」と表示）になり、再度クリックするとグレー表示になります。

③ ▶ をクリックして診断を始める。

●拡張診断ができるハードウェアは、ハードディスク、キーボード、ホイールパッドです。通常のご使用時は、キーボードとホイールパッドの拡張診断を行う必要はありません。これらの拡張診断は、ご相談窓口にお問い合わせいただいたときに行っていただく場合があります。ハードディスクの拡張診断は、標準診断よりも詳しく診断するため診断時間が長くなります。

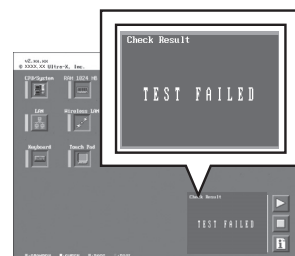
●PC-Diagnosticユーティリティは、次の手順でも起動することができます。

① 手順6までを行う。

② パソコンの起動後、「Panasonic」起動画面が表示されている間に Ctrl ＋ F7 を押し続ける。

- 「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、Ctrl ＋ F7 を押したまま電源を入れてください。
- 画面左下の「Please wait...」が表示されたらキーから指を離してください。押し続けていると、ポインターが表示されなくなる場合があります。

10 すべてのハードウェアが診断されたら、診断結果を確認する。

赤色になり「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、パソコンのハードウェアが故障していると考えられます。赤色で表示されているハードウェアを確認して、ご相談窓口にご相談ください。
緑色になり「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、パソコンのハードウェアは正常です。そのままお使いください。それでも正しく動作しない場合は、再インストールしてください。
（➡79ページ）

RAMモジュールを増設した状態でメモリー診断をして「Check Result TEST FAILED」が表示された場合：
増設されたRAMモジュールを取り外して診断を行ってください。それでも「Check Result TEST FAILED」が表示された場合、内蔵のRAMモジュールが故障していると考えられます。

11 診断が終了したら、画面右上の[close]をクリックするか、Ctrl ＋ Alt ＋ Del を押してパソコンを再起動する。

アイコンがグレー表示になり診断できない場合

次のような原因が考えられます。対策に記載されている操作を行ってください。操作を行ってもグレー表示になる場合は、ご相談窓口にご相談ください。

原因	対策（次の操作を行った後、再度診断してください）
セットアップユーティリティで対象のデバイスが無効に設定されている	セットアップユーティリティを起動し、対象のデバイスを[有効]に設定してください。
SDがグレー表示の場合：省電力機能により一時的にデバイスが見えなくなっている	パソコンの電源を切り、電源を入れてください。
USBがグレー表示の場合：USB2.0ポートが無効に設定されている、またはUSB3.0ポートが故障している	セットアップユーティリティを起動し、「詳細」メニューで[USBポート]を[有効]に設定してください。再度診断してもグレー表示の場合は、USB3.0ポートが故障している可能性があります。

ハードディスクを復元する

Windows 7に搭載されている「システムイメージの作成」および「システム回復オプション」の「システムイメージの回復」を使うことで、ハードディスク全体をバックアップおよび復元することができます。

ハードディスクをバックアップする

「システムイメージの作成」機能を使うと、別の記憶メディア（外付けハードディスクなど）に、ハードディスク全体のバックアップを取ることができます。
ハードディスク全体をバックアップするには、次の手順を行ってください。

① （スタート）-[コントロールパネル]-[バックアップの作成]をクリックする。
② [システムイメージの作成]をクリックする。
③ バックアップする場所を選択し、[次へ]をクリックする。
以降は画面の指示に従ってください。

ハードディスクを復元する

「システムイメージの作成」を使ってバックアップしたイメージデータを復元するには、「システム回復オプション」の「システムイメージの回復」を使います。
「システムイメージの回復」を起動するには、次の手順を行ってください。

●Windowsが正常に起動する場合

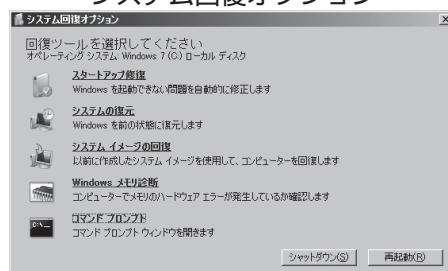
① （スタート）-[コントロールパネル]-[バックアップの作成]をクリックする。
② [システム設定またはコンピューターの回復]をクリックする。
③ [高度な回復方法]をクリックする。
④ [以前に作成したシステムイメージを使用してコンピューターを回復する]をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は[はい]をクリックしてください。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[はい]をクリックしてください。
⑤ ファイルをバックアップする場合は、[今すぐバックアップ]をクリックする。
画面の指示に従って、ファイルのバックアップを行ってください。
ファイルをバックアップしない場合は、[スキップ]をクリックしてください。
⑥ [再起動]をクリックする。
本機が再起動します。
パスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力し、Enterを押してください。
⑦ [次へ]をクリックする。
すでに選択されているキーボード入力方式以外は指定しないでください。
⑧「このコンピューター上にシステムイメージが見つかりません」という画面が表示された場合は、システムイメージをバックアップした記憶メディア（外付けハードディスクなど）を本機に接続し、[再試行]をクリックする。
⑨「コンピューターイメージの再適用」画面で、[次へ]をクリックする。
以降は画面の指示に従ってください。

●Windowsが起動しない場合
「システム回復オプション」を起動し、[システムイメージの回復]をクリックしてください。
（➡78ページ）

ハードディスクを復元する

システム回復オプションについて

システム回復オプションには、Windowsが正常に起動しなくなった場合に、システムファイルの修復などを行って起動できるようにする機能が集まっています。

システム回復オプション

システム回復オプションには、次のような機能があります。

スタートアップ修復	システムファイルが不足しているなど、Windowsが正常に起動しないとき、その問題を修復します。
システムの復元	システムファイルが正常に動作していたときの状態に戻します。個人用ファイル（文書やメールなど）は変更せず、システムファイルだけを元に戻すことができます。
システムイメージの回復	バックアップしたシステムイメージを使って、Windowsを復元します。
Windowsメモリ診断	メモリーにハードウェアエラーが起きていないか調べます。
コマンドプロンプト	コマンドプロンプトのウィンドウを開きます。

システム回復オプションを表示するには、次の手順を行ってください。

●「詳細ブートオプション」画面から行う方法

① ACアダプターを接続する。
② パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に F8 を押し続け、「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、指を離す。
「詳細ブートオプション」画面が表示されない場合は、リカバリーディスクを使ってください。（➡下記）
③「詳細ブートオプション」画面で、↑と↓を使って［コンピューターの修復］を選び Enter を押す。
④「次へ」をクリックする。
すでに選択されている言語とキーボード入力方式以外は指定しないでください。
⑤ Windowsで登録したユーザーアカウント名を選ぶ。
⑥ パスワードを入力し、[OK]をクリックする。

●リカバリーディスクを使う方法（リカバリーディスクと同じ種類のWindowsがインストールされている必要があります）

①「リカバリーディスクを使う」（➡83ページ）の手順１～７を行う。
②［システム回復オプションを起動する。］をクリックし、［次へ］をクリックする。
③「次へ」をクリックする。
すでに選択されている言語とキーボード入力方式以外は指定しないでください。
④「次へ」をクリックする。

●作成したシステム修復ディスクを使う方法

リカバリーディスクと異なる種類のWindows（32ビットまたは64ビット）をインストールしている場合（例：リカバリーディスクが64ビット用で、インストールされているOSが32ビットの場合）は、リカバリーディスクを使って「システム回復オプション」を表示することはできません。あらかじめ作成しておいたシステム修復ディスクを使ってください。（➡82ページ）
「システム回復オプション」の表示方法は、「リカバリーディスクを使う方法」と同じです（➡上記）。
修復ディスクからの起動時、何かキーを押すように促すメッセージが表示されます。キーを押した後、画面の指示に従って操作するとシステム回復オプションが表示されます。

再インストールする

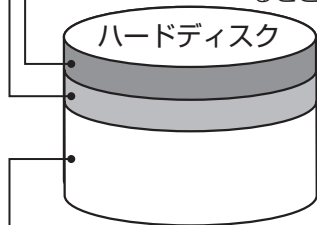
再インストールとは

再インストールとはハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。Windows 7（32ビット）またはWindows 7（64ビット）をインストールすることができます。
ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。また、お買い上げ後にお客さまがインストールされたアプリケーションソフトや各種設定（インターネットの設定など）も削除されます。
Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりした場合は、再インストールが必要です。

- **パーティションを複数作成している場合**
  Windows用とデータ用にパーティションを分けている場合は、データ用のパーティションをそのままにしてWindowsだけを再インストールすることができます。

重 要

<u>ハードディスク内の修復用領域は絶対に削除しないでください。</u>
本機のハードディスクには、再インストールに必要なリカバリーデータが保存された修復用領域があります。修復用領域はリカバリー領域とシステム領域で構成されています。

修復用領域
通常のドライブとして使用することはできません。

Windowsで使える領域

- リカバリーデータを他のメディアにバックアップすることはできません。また、外付けのハードディスクなどにバックアップを取ることはできません。
  万一、修復用領域が壊れたり、ハードディスクからの再インストールができなくなった場合は、リカバリーディスクを使用してください。（➡83ページ）
- ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

再インストールの流れ

必要なデータのバックアップを取る

ネットワークの設定、ユーザー名やパスワードをメモしておく。

セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

再インストールする（約15分）。
（フラッシュメモリードライブ搭載モデルの場合は約7分 / リカバリーディスク使用時は約40分）

Windows のセットアップを行う。

セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。

インターネットに接続できる場合は、Windows Updateを行う。

再インストールの前に

周辺機器およびSDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。特に、USBフロッピーディスクドライブ、USB接続のメモリーや外付けのハードディスクを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合があります。

再インストールする

重 要

再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

1 作成したデータなどのバックアップが取れる状態であれば、他のメディアや外付けハードディスクなどにバックアップを取る。

再インストールすると、インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客さまが作成したデータは、削除されます。

- データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作 / 誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。

2 ネットワークの設定をメモしておく。

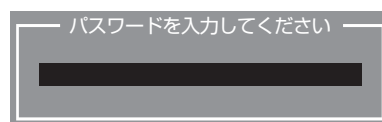
再インストールすると現在の設定は消去されます。

3 ユーザー名やパスワードをメモしておく。

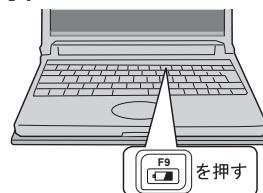
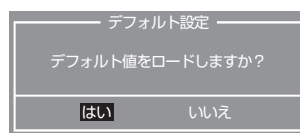
再インストールするとユーザーアカウントが削除され、Windowsパスワードも削除されます。

4 パソコンの電源を切り、ACアダプターを接続する。

5 パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- 「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、F2 または Del を押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面またはパスワード入力画面が表示されるまで、F2 または Del を押したままにしてください。
- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

ユーザーパスワードでは、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

- お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、あらかじめ変更した設定をメモしておくことをお勧めします。

6 F9 を押す。

7 次の画面で [はい] を選び、Enter を押す。

8 **F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押す。**

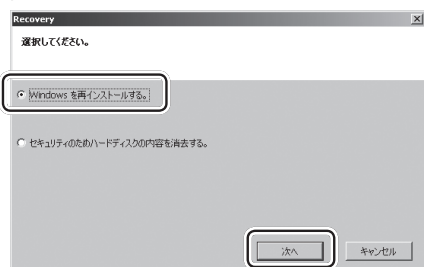
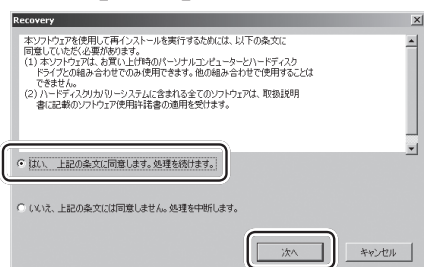
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enterを押してください。

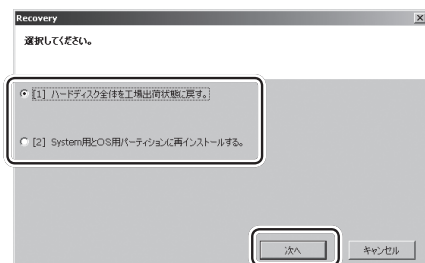
9 **「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押し、セットアップユーティリティを起動する。**

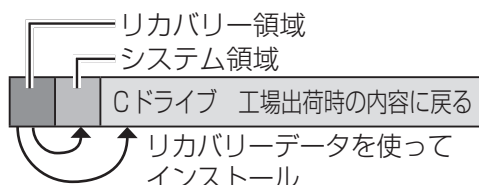
10 **←と→を使って「終了」メニューに移動する。**

11 **↑と↓を使って[コンピューターの修復]を選び、Enterを押す。**

12 **[Windowsを再インストールする。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。**

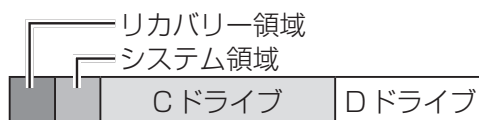
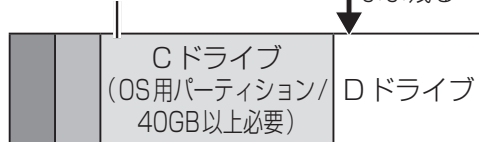
[キャンセル]をクリックすると、操作を中止できます。

13 **[はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。**

(リカバリーディスクを使って再インストールした場合は、以降の画面が一部異なります。)

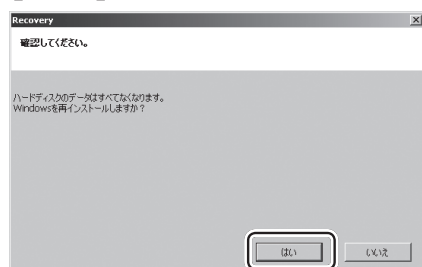
14 **再インストールの方法を選び、[次へ]をクリックする。**

再インストール方法によって、再インストール後のハードディスクの構成が異なります。(リカバリー領域には、再インストールに必要なリカバリーデータが入っています。)

● **[[1] ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す]を選んだ場合:**

工場出荷時の状態に戻したい場合や工場出荷時の状態から新たにパーティションを作成する場合に選んでください。パーティションの変更方法は61ページをご覧ください。

● **[[2] System用とOS用パーティションに再インストールする]を選んだ場合:**

この項目は、次の図のようにあらかじめパーティションを分けてお使いの場合に選んでください。パーティションの分割方法は61ページをご覧ください。
【再インストール前】
ハードディスクを複数のパーティションに分けて使用。

困ったとき

ハードディスクを複数のパーティションに分けて使用しており、ハードディスクの構成を変更せずにCドライブ以外のパーティションのデータを残したい場合に選んでください。
予期しない誤動作/誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。必ずデータのバックアップを取っておいてください。システム領域とOS用パーティションにWindowsを再インストールできない状態の場合は、[[2]System用とOS用パーティションに再インストールする]の項目は表示されません。

15 **確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。**

（画面は[[1] ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す]を選んだ場合の例です。）

16 **「OS選択」画面でインストールするOS（[Windows7 32bit]または[Windows7 64bit]）をクリックし、[OK]をクリックする。**

17 **[OK]をクリックする。**

- 再インストールが始まります。
- 再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。

18 **終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。**

パソコンの電源が切れます。

19 **電源を入れ、Windowsのセットアップを行う。**

（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』）

20 **セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。**

パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

21 **インターネットに接続できる場合は、(スタート)-[すべてのプログラム]-[Windows Update]をクリックし、Windows Updateを行う。**

● **リカバリーディスクと異なる種類のWindows（32ビットまたは64ビット）を手順16で選んだ場合は、システム修復ディスクを作成してください（例：リカバリーディスクが64ビット用で、32ビットをインストールした場合）。**システム修復ディスクは、ハードディスクから「システム回復オプション」を起動できない場合などに使います。
リカバリーディスクと同じ種類のWindowsをインストールした場合は、システム修復ディスクを作成する必要はありません。
システム修復ディスクの作成方法：

① 外付けDVDドライブ（別売り）を本機に接続する。
② (スタート)-[コントロールパネル]-[バックアップの作成]をクリックする。
③ [システム修復ディスクの作成]をクリックする。
④ DVDドライブに未使用のディスクをセットして、[ディスクの作成]をクリックする。
終了したら[閉じる]をクリックしてください。
作成したシステム修復ディスクを使って「システム回復オプション」を表示する方法については、「ハードディスクを復元する」（➡77ページ）をご覧ください。

重 要

● Microsoft® Officeインストール済みモデルをお使いの場合

- プロダクトリカバリー DVD-ROMが付属しているモデルをお使いで、付属のプロダクトリカバリー DVD-ROMを使ってWindowsを再インストールした場合は、ExcelやWordなどMicrosoft® Officeのアプリケーションソフトが削除されます（その後、ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールしてもMicrosoft® Officeのアプリケーションソフトはインストールされません）。再インストールした後、付属の『マイクロソフト オフィスホームアンドビジネス2010』内のディスクを使ってセットアップしてください。
- ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータやお客さまが作成されたリカバリーディスクを使って再インストールした場合はMicrosoft® Officeのアプリケーションソフトもインストールされます。ディスクを使ってセットアップする必要はありません。

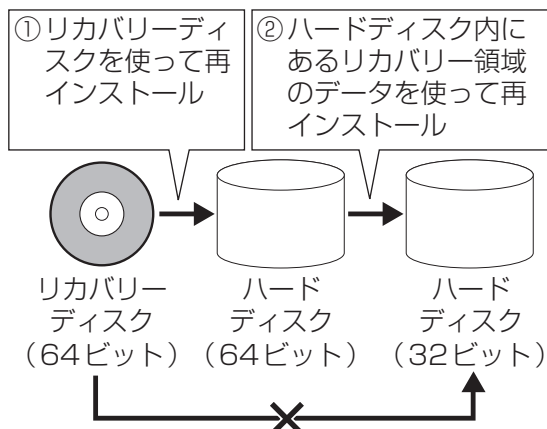
リカバリーディスクを使う

次の場合は、リカバリーディスクを使って再インストールしてください。

●管理者アカウントのパスワードがわからなくなった場合。

●「再インストールする」(➡79ページ)の操作が最後まで実行できない場合(修復用領域が破損している可能性があります)。

リカバリーディスクを使った再インストールでは、Windows 7の32ビットと64ビットを切り替えることはできません。リカバリーディスクに収録されているWindowsがインストールされます。

●Windows 7 (64ビット)のリカバリーディスクをお持ちの場合の例

リカバリーディスクを使って、リカバリーディスクと異なる種類のWindowsをインストールすることはできません。

重 要

●**リカバリーディスク(プロダクトリカバリーDVD-ROM)が付属していないモデルをお使いの場合、再インストールすると、リカバリーディスクを再度作成できるようになります。作成必要枚数が2枚以上で、それらを複数回作成し、作成したリカバリーディスクを使って再インストールするときは、1枚目と同じときに作成した2枚目を使用してください。再インストール前に作成した1枚目と再インストール後に作成した2枚目を使用するなど、異なる時期に作成したリカバリーディスクを混在して使用すると、正しく再インストールできない場合があります。**

次の手順で、ハードディスクのデータの消去や、「システム回復オプション」の起動も行うことができます。

1 外付けDVDドライブ(別売り)を本機に接続する。

外付けDVDドライブは、バッファロー製USBポータブルDVDドライブ(品番:DVSM-PC58U2Vシリーズまたは DVSM-PS58U2シリーズ)のご使用をお勧めします。

動作確認済みのDVDドライブの最新情報については、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。

http://askpc.panasonic.co.jp/work/drive/

接続のしかたは、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。

2 「再インストールする」(➡80ページ)の手順1～7を行う。

3 F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押す。

• セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

4 「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押し、セットアップユーティリティを起動する。

5 **リカバリーディスクをDVD ドライブにセットする。**

● 付属のプロダクトリカバリー DVD-ROM をお使いの場合は、プロダクトリカバリー DVD-ROM 1をセットしてください。

6 **⊟と⊟を使って「終了」メニューに移動する。**

7 **⇧と⇩を使って[デバイスを指定して起動]の下に表示されている外付けDVD ドライブのデバイス名を選び、Enterを押す。**

● デバイス名がわからない場合は次の手順を行ってください。

① [起動]メニューに移動する。
② [起動オプション #1]を選びEnterを押し、[USB光学ドライブ]を選んでEnterを押す。
③ F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選びEnterを押す。

● 次の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

8 **[Windowsを再インストールする。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。**

[キャンセル]をクリックすると、操作を中止できます。

9 **[はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。**

10 **再インストールの方法を選び、[次へ]をクリックする。**

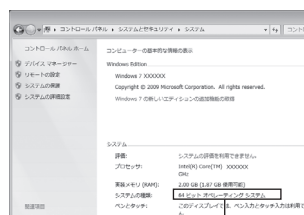
● 再インストール方法によって、再インストール後のハードディスクの構成が異なります。詳しくは81ページ手順14をご覧ください。
● 以降は画面の指示に従って、再インストールしてください。
● お客さまが作成されたリカバリーディスクをお使いのときは、途中で「ドライブに…番目のメディアを挿入してください」というようなメッセージが表示される場合があります。その場合は、メッセージに表示されている番号のリカバリーディスクをセットして[OK]をクリックしてください。
● 手順8で[セキュリティのためハードディスクの内容を消去する]を選ぶと、ハードディスクのデータの消去を行うことができます。

Windows 7のシステムの種類を確認する

次の手順でハードディスクにインストールされているWindows 7が32ビットか64ビットかを確認することができます。

1 **(スタート)-[コンピューター]をクリックする。**

2 **[システムのプロパティ]をクリックする。**

「システム」の「システムの種類」で確認してください。

- 32ビットの場合：
  32ビット オペレーティング システム
- 64ビットの場合：
  64ビット オペレーティング システム

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客さまの損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

次の点を確認してください。

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- データ消去には、1時間～9時間かかります（ハードディスクの容量によって消去時間は異なります）。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行するとハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- 修復用領域（➡79ページ）は消去されません。

データをすべて消去する

1 ACアダプターを接続する。

2 パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- 「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、F2 または Del を押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面またはパスワード入力画面が表示されるまで、F2 または Del を押したままにしてください。
- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

ユーザーパスワードでは、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

3 F9 を押す。

4 次の画面で［はい］を選び、Enter を押す。

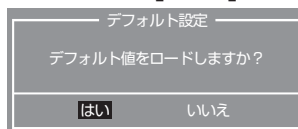
デフォルト設定
デフォルト値をロードしますか？
はい　いいえ

5 F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、［はい］を選び、Enter を押す。

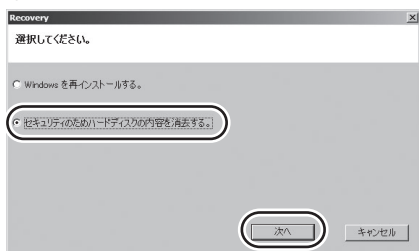
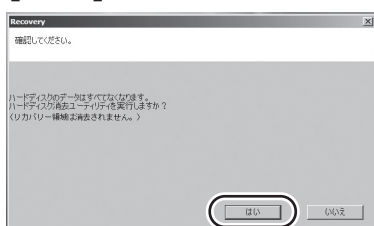
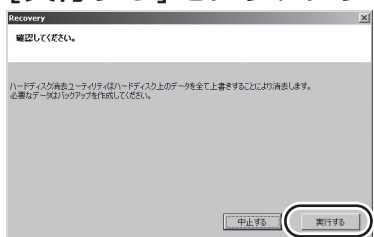
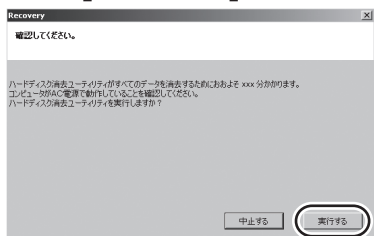
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

6 「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。

7 ← と → を使って「終了」メニューに移動する。

8 ↑ と ↓ を使って［コンピューターの修復］を選び Enter を押す。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

9 [セキュリティのためハードディスクの内容を消去する]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

[キャンセル]をクリックすると、操作を中止できます。

10 確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

11 [実行する]をクリックする。

12 再度[実行する]をクリックする。

13 [はい]をクリックする。

ハードディスクのデータ消去が開始されます。

14 終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

- パソコンの電源が切れます。
- 何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

データ流出のトラブルを回避するためにはハードディスク内に記録されたすべてのデータを、お客さまの責任において消去することが非常に重要です。

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客さまの重要なデータが記録されています。

したがって、そのパソコンを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

- 「削除」操作を行う
- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

ハードディスク内にお客さまがインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、次のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、またはこれら以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード / メッセージ	対 処
システム CMOS 値が正しくありません。	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティで、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
システム CMOS のチェックサムが正しくありません。	
日付と時刻の設定が正しくありません。20XX/01/01 に設定しました。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
エラー ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています。 セットアップユーティリティを起動し、正しく設定し直してください。	ハードディスクへのアクセスが禁止されています。 ● セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、[ハードディスク保護]を[無効]に設定してください。
＜ F2 ＞キーを押すとセットアップを起動します。	● エラー内容をメモした後、F2 または Del を押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクに OS が正しくインストールされていません。 ● フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。 ● ハードディスクから起動できない場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューでハードディスクが正しく認識されているか確認してください。 ・認識されている場合（「xxx GB」と表示）は、再インストールを行ってください。 ・認識されていない場合（「なし」と表示）は、ご相談窓口にご相談ください。 ● USB ポートに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシー USB]を[無効]に設定してください。
Disk error Press any key to restart	

セットアップユーティリティの起動方法：➡50ページ

アプリケーションソフトの問い合わせ先

本機に付属のアプリケーションソフトが正しく動作しない場合、まず、『操作マニュアル』「(アプリケーションソフト)」や各アプリケーションソフトのヘルプを十分にご確認ください。
インターネットに接続できる場合は、各アプリケーションソフトのメーカーのホームページにある、よくある質問などのサポート情報もご覧ください。ここにも問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、お使いのパソコンの状況をご確認のうえ、下記へお問い合わせください。

(2011年8月1日現在)

● **マカフィー・PCセキュリティセンター(デスクトップに が表示されている機種をお使いの場合のみセットアップすることができます)**

マカフィー・インフォメーションセンター

対応内容	マカフィー製品購入前のマカフィー製品に関するお問い合わせ
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp
電話	ナビダイヤル®:0570-010-220 / IP電話、光電話の場合:03-5428-1899
受付時間	9:00 ~ 17:00(土・日・祝祭日を除く)

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

対応内容	登録方法に関するご相談やお客さま登録情報の変更など
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp
電話	ナビダイヤル®:0570-030-088 / IP電話、光電話の場合:03-5428-1792
受付時間	9:00 ~ 17:00(土・日・祝祭日を除く)

マカフィー・テクニカルサポートセンター

対応内容	ソフトウェアの操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	マカフィー・チャットサポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp
電話	ナビダイヤル®:0570-060-033 / IP電話、光電話の場合:03-5428-2279
受付時間	9:00 ~ 21:00(年中無休)

(FAXによるお問い合わせは受け付けておりません)

● **緑のgooスティック** goo事務局

(緑のgooスティックがインストールされているモデルをお使いの場合のみ使うことができます)

受付時間	月~金曜日 10:00 ~ 18:00(年末年始、祝祭日を除く)
電話	045-848-4190(FAXによるお問い合わせは受け付けておりません)
E-mail	info@goo.ne.jp
Web	http://stick.goo.ne.jp/

●「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版

窓口	デジタルアーツ株式会社 サポートセンター
FAQ	http://www.daj.jp/faq/
お問い合わせフォーム	http://www.daj.jp/ask/
E-mail	p-support@daj.co.jp
電話	月～金：03-3580-5678（受付時間 10:00 ～ 18:00（祝祭日を除く）） 土日祝祭日：0570-00-1334（受付時間 10:00 ～ 20:00） （指定休業日を除く）
URL	http://www.daj.jp/

●ATOK for Windows無償試用版

対応内容	ATOKの製品購入に関するお問い合わせ
窓口	インフォメーションセンター
電話	03-5324-7624（東京） 06-6886-9300（大阪）
受付時間	平日9:30 ～ 18:00（土・日・祝日・特別休業日を除く）
サポートサイト	http://www.justsystems.com/jp/if/

対応内容	ATOK試用期間中の操作に関するお問い合わせ
電話	088-666-1523
受付時間	平日10:00 ～ 17:00（土・日・祝日・特別休業日を除く）
サポートサイト	http://support.justsystems.com/jp/

対応内容	ATOK製品購入後の操作に関するお問い合わせ
電話	03-5324-7605（東京） 06-6886-7160（大阪）
受付時間	平日9:30 ～ 18:00（土・日・祝日・特別休業日を除く）
サポートサイト	http://support.justsystems.com/jp/

●キングソフト辞書

窓口	キングソフトサポートセンター
お問い合わせフォーム	https://pay.kingsoft.jp/contact/contact_ksd.html
E-mail	ksd_spt@kingsoft.jp
電話	ナビダイヤル：0570-008230
受付時間	10：00 ～ 17：00（土・日・祝祭日を除く）
URL	http://www.kingsoft.jp/dictionary/

●WinZip 14.5日本語版

窓口	コーレル株式会社 Corelストア サービスセンター
E-mail	jpstore@corel.com
電話	ナビダイヤル：0570-009-002
受付時間	月～金曜日、10:00 ～ 12:00、13:30 ～ 17:30（祝祭日、夏季・年末年始・特定休業日を除く）
FAX	03-3544-8175
サポートページ	www.corel.jp/winzip/panasonic.html

フィルタリングについて

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットを利用すると世界中の情報にアクセスすることができますが、中には違法な情報や有害な情報も存在します。次のような情報は、青少年の健全な発育を妨げるだけでなく、青少年による犯罪や財産権侵害、人権侵害などの問題を助長していると見られています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口やひぼう中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるため、上述のようなサイトも公開をやめさせることはできません。また、日本では非合法でも、そのWebサイトを発信している国では合法なものもあります。

有害なインターネット上の情報の受信を自動的に制限する技術が、「フィルタリング」です。これは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、有害な情報の受信を制限できる有効な手段です。特に青少年がインターネットを利用する家庭では、パソコンにフィルタリング機能を持つソフトウェアをインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をお勧めします。

本機には、「フィルタリング」機能をサポートするソフトウェアとして「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版が用意されています。デスクトップの（有害サイトから守るiフィルターのセットアップ）をダブルクリックして「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版をインストールすることができます。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルター」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、機能や利用条件が異なります。ソフトウェア提供会社あるいは、お客さまが契約されているインターネット事業者に、事前に確認されることをお勧めします。

フィルタリングに関する情報は、一般社団法人　電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」からも入手できます。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/report/pcsupport/index.html

（2011年8月1日現在）

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。
下記品番以外のパソコンをお持ちの場合は、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』などで仕様を確認してください。

●本体仕様

品番	スタンダードモデル		ハイパフォーマンスモデル	
	CF-J10TYAHR	CF-J10TYPHR	CF-J10UYBHR	CF-J10UYNHR
CPU	インテル® Core™ i3-2330M プロセッサー（インテル® スマートキャッシュ 3 MB※1、動作周波数 2.20 GHz）		インテル® Core™ i5-2410M プロセッサー（インテル® スマートキャッシュ 3 MB※1、動作周波数 2.30 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 利用時は最大 2.90 GHz ）	
チップセット	モバイルインテル® HM65 Express チップセット			
メインメモリー	標準 4 GB※1 DDR3 SDRAM（最大 8 GB※1）※2			
空きスロット数	1			
ビデオメモリー	最大 1696 MB※1（メインメモリーと共用）※3			
グラフィックアクセラレーター	インテル® HD グラフィックス3000（インテル® Core™ i3-2330M プロセッサーに内蔵）		インテル® HD グラフィックス3000（インテル® Core™ i5-2410M プロセッサーに内蔵）	
ハードディスクドライブ※4	250 GB（Serial ATA） 上記容量のうち約 12 GB をリカバリー領域、約 300 MB をシステム領域として使用（ユーザー使用不可）		搭載されていません	
フラッシュメモリードライブ※4	搭載されていません		128 GB（Serial ATA） 上記容量のうち約 12 GB をリカバリー領域、約 300 MB をシステム領域として使用（ユーザー使用不可）	
表示方式	10.1 型ワイド（16:9）TFT カラー液晶 WXGA（1366 × 768 ドット）			
内部 LCD 表示	1366 × 768 ドット：約 1677 万色※5			
外部ディスプレイ表示※6	800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット、1280 × 768 ドット、1280 × 1024 ドット、1360 × 768 ドット、1366 × 768 ドット、1400 × 1050 ドット、1600 × 900 ドット、1600 × 1200 ドット、1680 × 1050 ドット、1920 × 1080 ドット、1920 × 1200 ドット：約 1677 万色			
本体＋外部ディスプレイ同時表示※6	800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット、1280 × 768 ドット、1360 × 768 ドット、1366 × 768 ドット：約 1677 万色※5			
無線 LAN/WiMAX	インテル® Centrino® Advanced-N + WiMAX 6250 無線 LAN：IEEE802.11a（W52/W53/W56）/b/g/n 準拠※7（➡96 ページ） WiMAX：IEEE802.16e-2005 準拠（➡96 ページ）			
LAN※8	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T			
モデム	搭載されていません			
サウンド機能	PCM 音源（24 ビットステレオ）、インテル® High Definition Audio 準拠、モノラルスピーカー			
セキュリティチップ	搭載されていません			
カードスロット	SD メモリーカードスロット※9 × 1 スロット（SDHC メモリーカード/SDXC メモリーカード対応 / 著作権保護技術対応 /UHS-I 高速転送対応）			
拡張メモリースロット	DDR3 204 ピン SO-DIMM × 1 スロット（1.5 V/PC3-8500/DDR3 SDRAM）			
インターフェース	USB2.0 ポート× 2（右側面）※10、USB3.0 ポート× 1（左側面）※11、LAN コネクター（RJ-45）※8、外部ディスプレイコネクター（アナログ RGB ミニ Dsub 15 ピン）、HDMI 出力端子※12、マイク入力端子（ステレオミニジャック M3（プラグインパワー対応））※13、オーディオ出力端子（ステレオミニジャック M3）			

仕様

品番		スタンダードモデル		ハイパフォーマンスモデル	
		CF-J10TYAHR	CF-J10TYPHR	CF-J10UYBHR	CF-J10UYNHR
キーボード/ポインティングデバイス		OADG 準拠キーボード（85キー）、キーピッチ：17 mm（横）/14.2 mm（縦）（一部キーを除く）/ホイールパッド			
電源		ACアダプターまたはバッテリーパック			
ACアダプター※14		入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz、出力：DC 16 V、4.06 A、電源コードは100 V専用			
バッテリーパック		7.2 V（リチウムイオン）、公称容量6.2 Ah/定格容量5.8 Ah		7.2 V（リチウムイオン）、公称容量9.3 Ah/定格容量8.7 Ah	
	バッテリー駆動時間※15	● 付属のバッテリーパック（S）装着時 約7.5時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時） ● 別売りのバッテリーパック（L）装着時 約11.5時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時）		● 付属のバッテリーパック（L）装着時 約12.5時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時） ● 別売りのバッテリーパック（S）装着時 約8時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時）	
	バッテリー充電時間※16	約3.5時間（電源オフ時）/約5時間（電源オン時）			
消費電力		最大約65 W※17 （社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：39 W 23-J-1			
外形寸法		幅251.9 mm×奥行き171.7 mm×高さ27.3 mm/35.1 mm（前部/後部）突起部およびジャケット除く			
質量※18	パソコン本体	● ジャケット付き：約1.185 kg（付属のバッテリーパック（約0.23 kg）装着時） ● ジャケットなし：約0.97 kg（付属のバッテリーパック（約0.23 kg）装着時）		● ジャケット付き：約1.205 kg（付属のバッテリーパック（約0.32 kg）装着時） ● ジャケットなし：約0.99 kg（付属のバッテリーパック（約0.32 kg）装着時）	
	ACアダプター	約0.2 kg（電源コード（約0.06 kg）除く）			
使用環境条件		温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：30 % RH ～ 80 % RH（結露なきこと）			
OS※19	ベースOS	Windows® 7 Home Premium 32ビット 正規版 (Service Pack 1 適用済み)（日本語版）/Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版 (Service Pack 1 適用済み)（日本語版）			
	インストールOS	Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版 (Service Pack 1 適用済み)（日本語版）			
Microsoft® Office Home and Business 2010		―	導入済み	―	導入済み

●導入済みソフトウェア※19

○：セットアップ済み/セットアップ不要
■：セットアップが必要

こんなときに使う		アプリケーション名	お買い上げ時の状態
インターネット/ネットワーク	ホームページを見る	Microsoft® Internet Explorer 9.0	○
	インターネットで検索する	緑のgoo スティック※20	○
	ネットワークを簡単に切り替える	ネットセレクター 2	○
	無線の電源/IEEE802.11a設定を切り替える	無線切り替えユーティリティ	○
セキュリティ	セキュリティを設定する	セキュリティ設定ユーティリティ	○
	ウイルス対策をする	マカフィー・PCセキュリティセンター	■※21
	有害サイトへのアクセスを防止する	「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版	■※22

こんなときに使う		アプリケーション名	お買い上げ時の状態
PDFファイル	PDFファイルを見る	Adobe Reader	○
ファイル管理	ファイルを圧縮/解凍する	WinZip 14.5日本語版	■※23
バッテリー	バッテリー残量表示を補正する	バッテリー残量表示補正ユーティリティ	○
ホイールパッド	ホイールパッドをより使いやすくする	ホイールパッドユーティリティ	○
キーボード/文字入力	テンキーモードを知らせる	NumLock お知らせ	○
	Fnキーをより使いやすくする	Hotkey 設定	○
		Fn Ctrl 機能入れ換えユーティリティ	■※24
	日本語入力時、便利な変換機能や文章校正機能を使う	ATOK for Windows無償試用版	■※25
	指定したテキストの意味を表示する辞書ソフトを使う	キングソフト辞書	■※26
電源プラン/省電力	電源プランの切り替えや省電力の設定をする	電源プラン拡張ユーティリティ	○
	電力を上手に使う	ピークシフト制御ユーティリティ	○
音楽/動画	音楽や動画を再生する	Microsoft® Windows® Media Player 12	○
周辺機器	外部ディスプレイをより使いやすくする	プロジェクターヘルパー	○
	USBキーボード接続時にテンキーモードに切り替える	USBキーボードヘルパー	■※27
	外部ディスプレイ接続時、拡張デスクトップモードをより使いやすくする	ディスプレイヘルパー	■※28
	プロジェクターに画面を映す	Wireless Manager mobile edition 5.5	■※29
	インテル® WiDiを使って外部ディスプレイに画面を表示する	インテル® WiDiソフトウェア	○
画面	虫めがねのように画面の一部を拡大表示する	ズームビューアー	○
	画面全体を拡大表示する	ぴったりビュー	■※30
パソコンの設定変更/状態確認	Windowsが起動するまでの時間を短縮する	クイックブートマネージャー	○
	ホームページの更新情報/バッテリーやハードディスクに関する情報などを表示する/HDMI接続を補助する	PC情報ポップアップ	○
	パソコンの使用状態を確認する	PC情報ビューアー	○
	パソコンの各種設定をする	Aptioセットアップユーティリティ	○
	ハードウェアを診断する	PC-Diagnosticユーティリティ※31	○
リカバリーディスクの作成	リカバリー領域から再インストールできなくなったときに備えて、リカバリーディスクを作成する	リカバリーディスク作成ユーティリティ	○
廃棄や譲渡時	ハードディスクのデータを消去する	ハードディスクデータ消去ユーティリティ※32	○
その他	DirectX 11※33		○
	Microsoft® .NET Framework 3.5.1		○
	インテル® PROSet/Wireless Software（無線LANの認証方式を拡張しています）		○
	インテル® My WiFi テクノロジー		○
	インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー（インテル® IPT）		○
	VIP Access for Desktop（インテル® IPT用アプリケーションソフト）		○

仕様

※1　1 MB =1,048,576 バイト。1 GB =1,073,741,824バイト。

※2　32ビットOSでは仕様により、実際に使用できるメモリーサイズは小さくなります（3.4 GB ～ 3.5 GB）。

※3　本機の動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。ビデオメモリーのサイズはOSにより割り当てられます。
Windows 7（32ビット）では最大1556 MBになります。

※4　1 MB =1,000,000バイト。1 GB =1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。

※5　グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。

※6　パソコン本体の外部ディスプレイコネクターは、パソコン用外部ディスプレイを接続するためのコネクターです。外部ディスプレイによっては、正しく表示できない場合があります。また、家庭用のテレビを外部ディスプレイとしてお使いの場合は、テレビに付属の取扱説明書で対応解像度をご確認ください。
HDMI対応ディスプレイを接続した場合、出力可能な最大解像度などの表示スペックは、接続機器の仕様により異なります。詳しくは接続機器の仕様をご確認ください。

※7　IEEE802.11aを使用して本機と通信するには、W52/W53/W56のいずれかに対応した無線LANアクセスポイントをお使いください。IEEE802.11n準拠モードで通信するには、本モードに対応した無線LANアクセスポイントが必要です。また、本機および無線LANアクセスポイントの暗号化設定をAESに設定する必要があります。詳しくは無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

※8　コネクターの形状によっては使用できないものがあります。伝送速度は、理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度を示すものではありません。使用環境により変動します。

※9　容量2 GBまでの当社製SDメモリーカード、容量32 GBまでの当社製SDHCメモリーカード、容量64 GBまでの当社製SDXCメモリーカードの動作を確認済み。
すべてのSD機器との動作を保証するものではありません。

※10 USB1.1/2.0対応。USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。

※11 USB1.1/2.0/3.0対応。USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。

※12 HDMI対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。

※13 コンデンサー型マイクロホンをお使いください。

※14 本製品はAC100 V対応の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（➡13ページ）

20-J-1

※15「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約8割になります。

※16 バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効（電源オン/オフ）時の充電時間は約5時間。バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。

※17 パソコンの電源が切れていて、バッテリーが満充電や充電していないときはパソコン本体で約0.7 Wの電力を消費します（ただし、ピークシフト制御期間中は約1 W）。スリープ状態/休止状態でのバッテリー残量保持期間は、「電源を入れる/切る」をご覧ください（➡31ページ）。
ACアダプターをパソコン本体に接続していなくても、電源コンセントに接続したままにしていると、ACアダプター単体で最大0.3 Wの電力を消費します。

※18 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

※19 ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールすると、インストールするOS（Windows 7（32ビット）またはWindows 7（64ビット））を選ぶことができます。お買い上げ時にインストールされているOS、ハードディスクリカバリー機能またはリカバリーディスクを使ってインストールしたOSのみサポートします。

※20 Windows 7（64 ビット）で[Internet Explorer（64 ビット）]を起動した場合、緑のgooスティックは表示されません。

※21 デスクトップの「マカフィーでPCのセキュリティ対策をする」をダブルクリックしてセットアップしてください。ウイルススキャン、サイトアドバイザプラス（安全なウェブ検索）機能のみが搭載されています。その他の機能はインターネットからダウンロードしてご利用いただけます。
ご利用前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録をすると、DAT（ウイルス定義ファイル）のアップデートサービスやその他ユーザーサポートがご利用いただけます。90日の試用期間終了後、引き続きご利用になる場合は、表示されたメッセージに従って、有償契約をお申し込みください。

※22 デスクトップの「有害サイトから守るiフィルターのセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。

※23 デスクトップの「WinZipのセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。期間限定の試用版を使うことができます。

※24「C:¥util¥setfnctrl」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。

※25 デスクトップの「ATOK 無償試用版のセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください（試用期間：60日間）。

※26 デスクトップの「キングソフト辞書のセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。

※27「C:¥util¥ukbhelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。Panasonic Notificationがインストールされていない場合は、Windowsのログオン画面でUSBキーボードヘルパーは動作しません。

※28「C:¥util¥disphelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。

※29 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト。当社製プロジェクター TH-LB20NT/TH-LB30NT/TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT/PT-FW100NT/PT-F100NT/PT-F200NT/PT-F300NT/PT-FW300NT/PT-LB51NT/PT-LB75NT/PT-LB80NT/PT-LB90NT/PT-LW80NT/PT-DZ570/PT-DW530/PT-DX500/PT-F300/PT-FW300/PT-FW430/PT-FX400と無線LAN接続または有線LAN接続するときに使います。PT-DZ570/PT-DW530/PT-DX500/PT-FW430/PT-FX400は別途ワイヤレスモジュール（別売り）が必要です。
デスクトップの「Wireless Manager mobile editionのセットアップ」アイコンをダブルクリックしてセットアップしてください。
詳しくは『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「プロジェクターを使う」をご覧ください。

※30「C:¥util¥optiview」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。

※31 起動方法は「ハードウェアを診断する」（➡74ページ）をご覧ください。この機能には（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。

※32 修復用領域上で実行するユーティリティ（実行できない場合は、リカバリーディスクから実行してください）。

※33 本機のグラフィックアクセラレーターはDirectX 10.1まで対応しています。

- インテル® アンチセフト・テクノロジーおよびインテル® IPTをお使いになる場合は、サービス事業者が提供する専用ソリューションが必要です。
- フラッシュメモリードライブ搭載モデルの場合は、PC情報ポップアップのハードディスクの使い方に関する情報を表示する機能は使えません。

仕様

●無線 LAN

項目		仕様
データ転送速度 （規格値）※34		IEEE802.11a： 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11b： 11/5.5/2/1 Mbps IEEE802.11g： 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11n 20MHz時： 6/13/19/26/39/52/58/65/78/104/117/130 Mbps 20MHz、Short GI有効時： 7/14/21/28/43/57/65/72/86/115/130/150 Mbps 40MHz時： 13/27/40/54/81/108/121/135/162/216/243/270 Mbps 40MHz、Short GI有効時： 15/30/45/60/90/120/135/150/180/240/270/300 Mbps
準拠規格		ARIB STD-T66/ARIB STD-T71 IEEE802.11a（W52/W53/W56）、IEEE802.11b、IEEE802.11g、 IEEE802.11n※35（無線 LAN標準プロトコル）
伝送方式		OFDM 方式、DS SS方式
有効距離※36		IEEE802.11a：見通し約30 m IEEE802.11b/g/n：見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線 チャンネル	インフラストラクチャ通信モード	IEEE802.11a/n： 36/40/44/48チャンネル（W52） 52/56/60/64チャンネル（W53） 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140チャンネル（W56） IEEE802.11b/g/n： 1 ～ 13チャンネル
	ad hoc通信モード	IEEE802.11b/g： 1 ～ 11 チャンネル
RF周波数帯域		2.4 GHz帯域（2.4 GHz ～ 2.4835 GHz） 5 GHz帯域（5.15 GHz ～ 5.35 GHz、5.47 GHz ～ 5.725 GHz）※37

※34 無線 LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
表示の数値は、本機と同等の構成を持った機器と通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53 W56

※35 IEEE802.11n準拠の表記は、他のIEEE802.11n対応製品との接続性を保証するものではありません。

※36 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OSなどの使用条件によって異なります。

※37 5.2GHz/5.3GHz帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。W52/W53をご使用で無線 LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください。5.47GHz ～ 5.725GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

●WiMAX

項目	仕様
データ転送速度※38	受信最大 28 Mbps（ベストエフォート方式） 送信最大 6 Mbps（ベストエフォート方式）
準拠規格	IEEE802.16e-2005
伝送方式	OFDMA方式
送信有効距離※39	1 km ～ 3 km
RF周波数帯域	2.5 GHz帯域（2595 MHz ～ 2625 MHz）

※38 受信時および送信時の最大通信速度として表示している数値は、実際の通信速度を示すものではありません（搭載モジュールの仕様の値）。

※39 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OSなどの使用条件によって異なります。

電源プラン一覧

電源プランの名前	省電力効果のレベル (●の数が多いほど省電力の効果があります)	特徴 工場出荷時の設定でお使いになった場合の省電力レベルや特徴を説明しています。省電力効果のレベルは動作環境などにより変動します。	利用シーン
パナソニックの電源管理(省電力)	●●●●●	ACアダプター接続時もバッテリーで使用時も、工場出荷時に用意されている電源プランの中で最も消費電力を節約します。	パソコンの処理速度を抑えても、消費電力を節約したいときに適しています。
パナソニックの電源管理(放熱優先)	●●●●	バッテリーで本機を使用しているときは、バッテリーの駆動時間が長くなります。パソコンの処理速度を抑えて、冷却ファンを高速に回転させることで本体の発熱を抑えます。	使用中に本体が熱いと感じたとき(発熱を下げたいとき)に適しています。
パナソニックの電源管理(モバイル)	●●●	バッテリーで本機を使用しているときは消費電力を節約します。ACアダプターを接続すると、パソコンの処理速度を優先します。	出張や外出などで、パソコンを持ち歩くことが多いときに適しています。
省電力	●●●	パフォーマンスを抑えて消費電力を節約します。 バッテリーの駆動時間を長くすることができます。	アプリケーションソフトや周辺機器をあまり使わないときには適しています。
パナソニックの電源管理(標準)	●●	必要に応じて消費電力を増やしたり節約したりします。工場出荷時は、この電源プランに設定されています。	通常の使用時に適しています。
バランス	●	必要に応じて消費電力を増やしたり節約したりします。 [パナソニックの電源管理(標準)]とは、[ワイヤレスアダプタの設定]などが異なります。	通常の使用時に適しています。
パナソニックの電源管理(プレゼンテーション)	●	操作をしない状態が続いてもハードディスクやディスプレイの電源が切れず、スクリーンセーバーも起動しない設定です。また、冷却ファンの回転を低速に設定し、冷却ファンの音を小さくしています。	会議などでプレゼンテーションを行うときに適しています。
高パフォーマンス	省電力の効果なし	パソコンの処理速度を優先します。消費電力は多くなります。	アプリケーションソフトや周辺機器を頻繁に使うときに適しています。

電源プランを切り替える

● ピークシフト制御ユーティリティでピークシフト制御を有効にし、[電源プランと連動する]にチェックマークを付けている場合:
①画面右下の通知領域のをクリックし、(ピークシフト制御ユーティリティのアイコン)をクリックする。
(アイコンの形状はピークシフト制御の状況によって異なります。)
②[その他]をクリックし、[電源プランと連動する]で設定したい電源プランをクリックする。
③[OK]をクリックする。

● ピークシフト制御ユーティリティの[電源プランと連動する]にチェックマークを付けていない場合:
①画面右下の通知領域のをクリックしてをクリックする。
②表示されたメニューから、設定したい電源プランをクリックする。
③電源プランの変更内容を確認し、[OK]をクリックする。

電源プランの詳細設定の変更方法などについては、『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「利用シーンに合った電源設定をする(電源プランの設定)」をご覧ください。

ソフトウェア使用許諾書

第１条	権　利	お客さまは、本ソフトウェア（パソコン本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルやCD-ROM/DVD-ROMなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権またはその他一切の権利は弊社が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。
第２条	第三者の使用	お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。
第３条	コピーの制限	本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）を目的とした１回に限定されます。
第４条	使用パソコン	本ソフトウェアは、本パソコン１台での使用とし、他のパソコンで使用することはできません。
第５条	解析、変更または改造	本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。
第６条	アフターサービス	お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
第７条	免　責	本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。
第８条	合意管轄	本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。
第９条	準拠法	本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。
第１０条	輸出管理	お客さまが本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

さくいん

の項目は、画面で見る『操作マニュアル』の「索引・用語集」をご覧ください。

デスクトップの（操作マニュアル）をダブルクリックしてください。

さくいん

さくいん

- Microsoftとそのロゴ、Windows、Windowsロゴ、Outlookは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、インテルは、米国 Intel Corporationの商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- 「i-フィルター」はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- WiMAXは、WiMAX Forumの登録商標です。
- ホイールパッドは、パナソニック株式会社の登録商標です。

その他の製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

重要なお知らせ

- お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療診断目的で画像を表示することを意図しておりません。
- お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障／修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化／消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「使用上のお願い」（➡16～21ページ）の内容に注意してください。

- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り換えします。
- 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B
2-J-2

本装置は、一般社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。（一般社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
3-J-1-1

日本国内で無線LANをお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約40 mであることを意味します。
25-J-2-1

お客さまが2.4 GHz帯11nモードで無線LANをお使いの際に、無線LANのデバイス・プロパティにて802.11nチャンネル幅を「自動」(40 MHz帯域幅も可能) へ設定を変更される場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。また万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、本設定を20 MHzへ戻してください。
43-J-2

IEEE802.11a規格に対応した無線LANを搭載したモデルのみ
5 GHz 帯の無線 LAN をお使いになる場合のお願い
5 GHz 帯の無線 LAN は、電波法の規制により、屋外で使用できません。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
この記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。
53-J-1

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

22-J-1

愛情点検　**長年ご使用のパソコンの点検を！**

こんな症状はありませんか	• 異常な音やにおいがする • 水や異物が入った	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社　ITプロダクツビジネスユニット

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

SS0811-0
DFQW5546ZA

Printed in Japan